



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2013年9月期 第**2**四半期

決算説明資料

2013年5月20日版

2013年9月期/
September.2013
証券コード/
Securities code
2362

CONTENTS

連結決算概要

セグメント別概要

業績予想

中期経営計画

株主還元

TOPIC

- 1. 経常利益 50%増益**
- 2. 採用人数 1,200人へ**
- 3. 今期2度目の増配発表**

連結決算概要

連結P/Lの状況

連結P/Lの状況

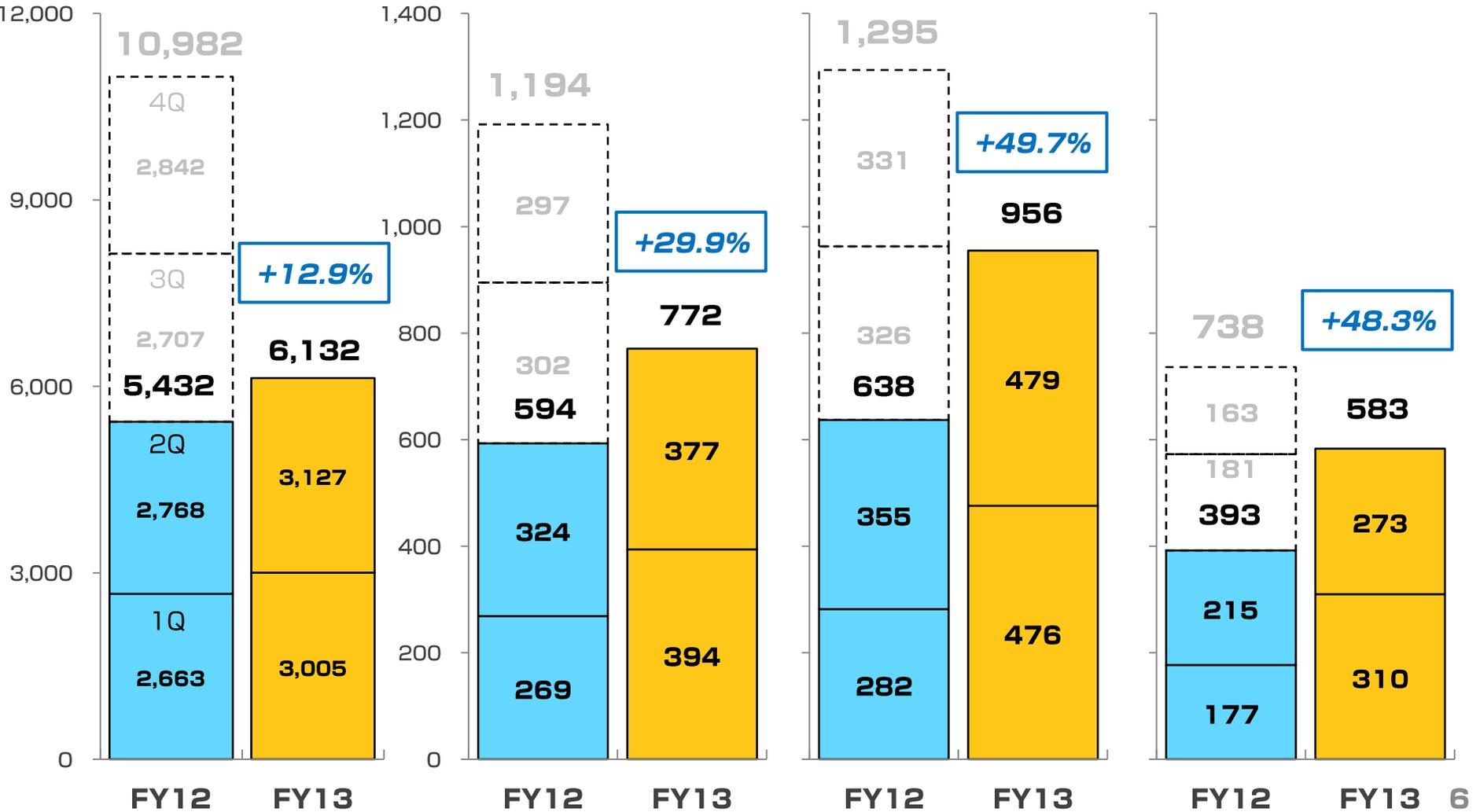
売上高

営業利益

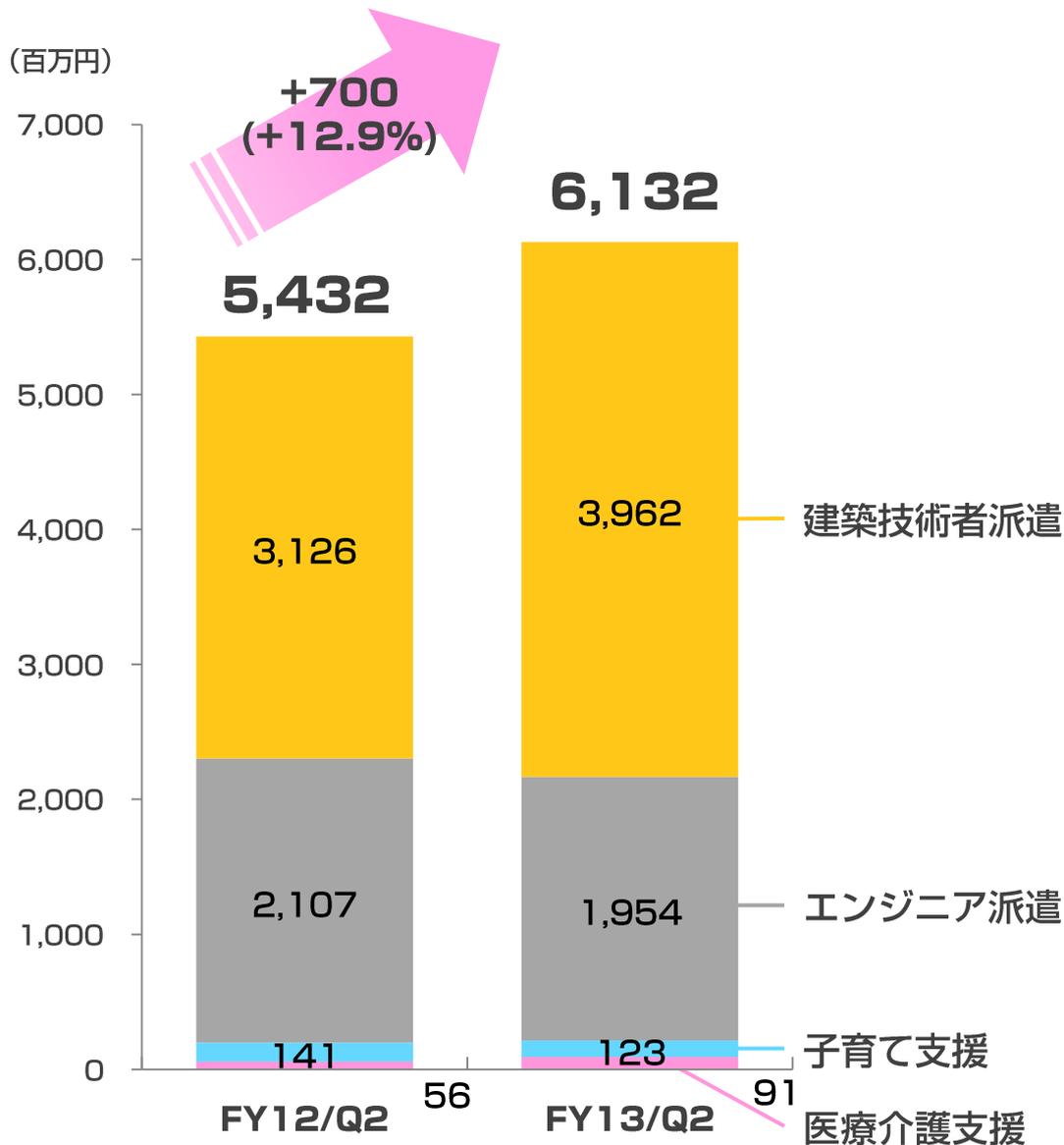
経常利益

当期純利益

(百万円)



連結P/L (1) 売上高



【主な増減要因】

建築技術者派遣 **+836百万**

・技術者数の増加 +247人

エンジニア派遣 **▲152百万**

・技術者数の減少

子育て支援 **▲17百万**

・保育士派遣の減収

医療介護支援 **+34百万**

・デイサービス施設利用者の増加

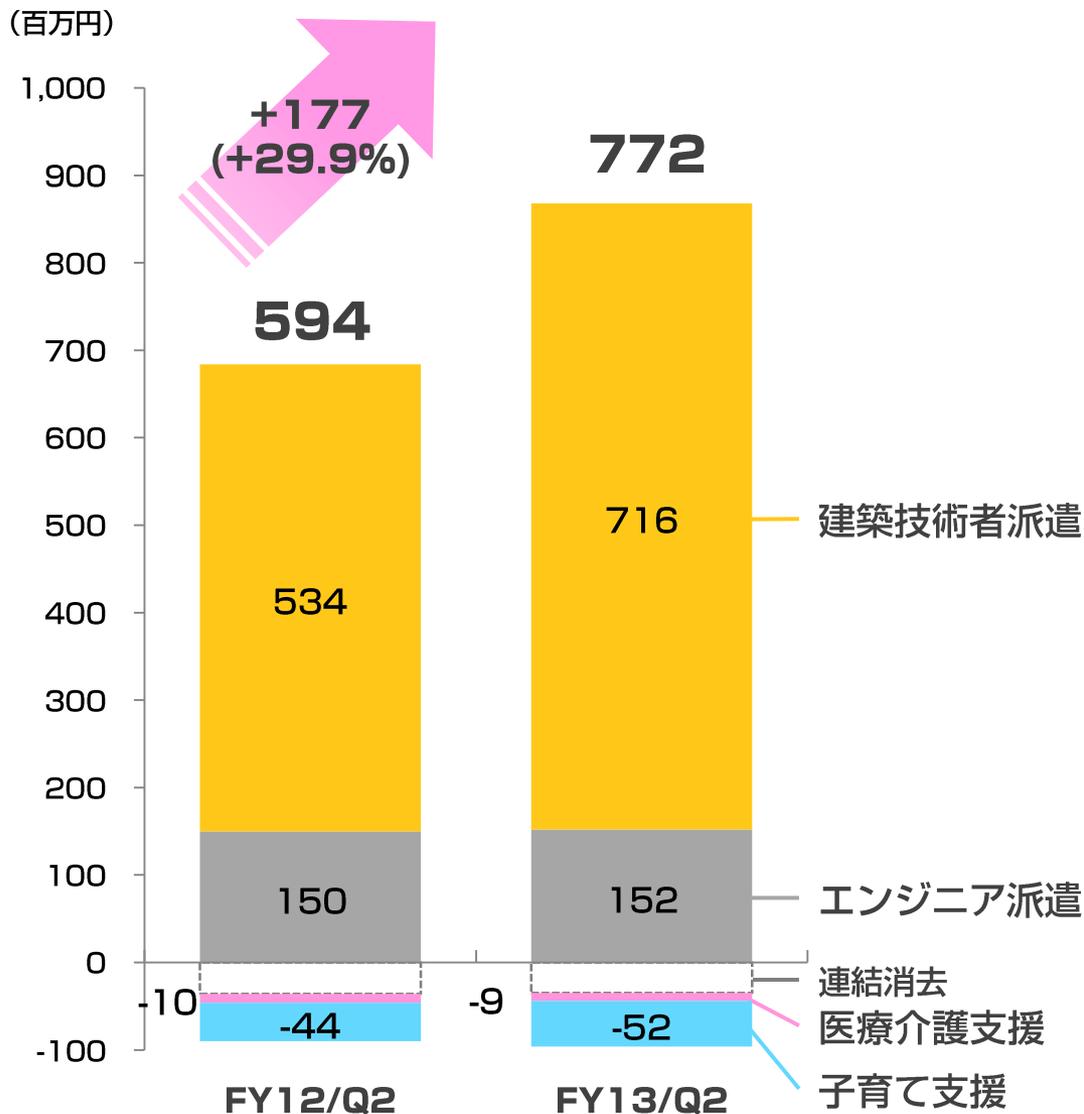
連結P/L (2) 販売費及び一般管理費

(百万円)

	FY12/Q2	FY13/Q2	増減額	摘要
売上原価	3,870	4,288	417	技術者増員による増加
売上総利益	1,561	1,844	283	
売上総利益率	28.7%	30.1%	1.4pt.	平均単価上昇による増加
販売費及び一般管理費	966	1,072	105	
役員報酬	57	53	▲3	
人件費	502	564	61	営業員増員による増加
広告宣伝費	11	14	2	
採用費	43	81	38	1,200人採用のため増加
業務委託費	113	109	▲4	
貸倒引当金繰入額	21	12	▲8	
のれん償却額	47	41	▲5	
販管费率	17.8%	17.5%	▲0.3pt.	

※ 人件費＝給与及び手当+賞与+福利厚生費+退職給付費用（役員含まず）

連結P/L (3) 営業利益



【主な増減要因】

建築技術者派遣

+181百万

- ・売上高の増加
- ・販管費率の減少

+836百万
▲0.3pt.

エンジニア派遣

+1百万

- ・稼働率の改善

子育て支援

▲7百万

- ・売上高の減少

▲17百万

医療介護支援

+0.7百万

- ・売上高の増加

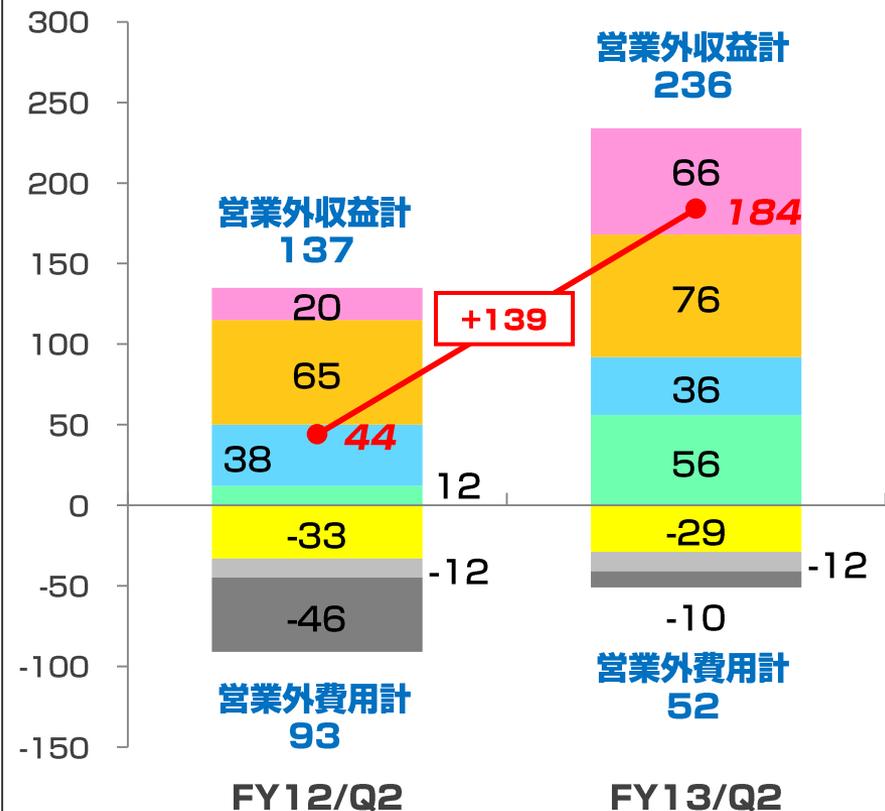
+34百万

連結P/L (4) 営業外損益・経常利益

(百万円)

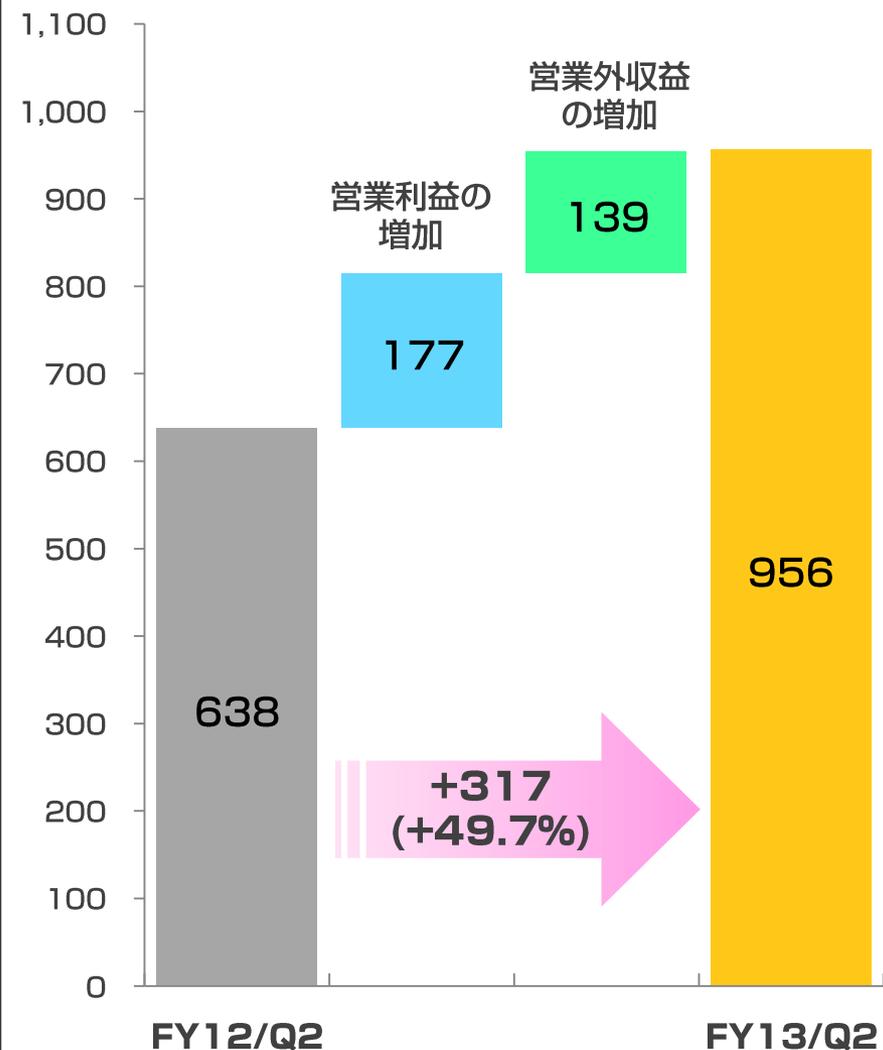
営業外損益

- 投資有価証券売却益
- 受取家賃
- 補助金収入
- その他の営業外収益
- 支払利息
- 賃貸収入原価
- その他の営業外費用
- **営業外損益**

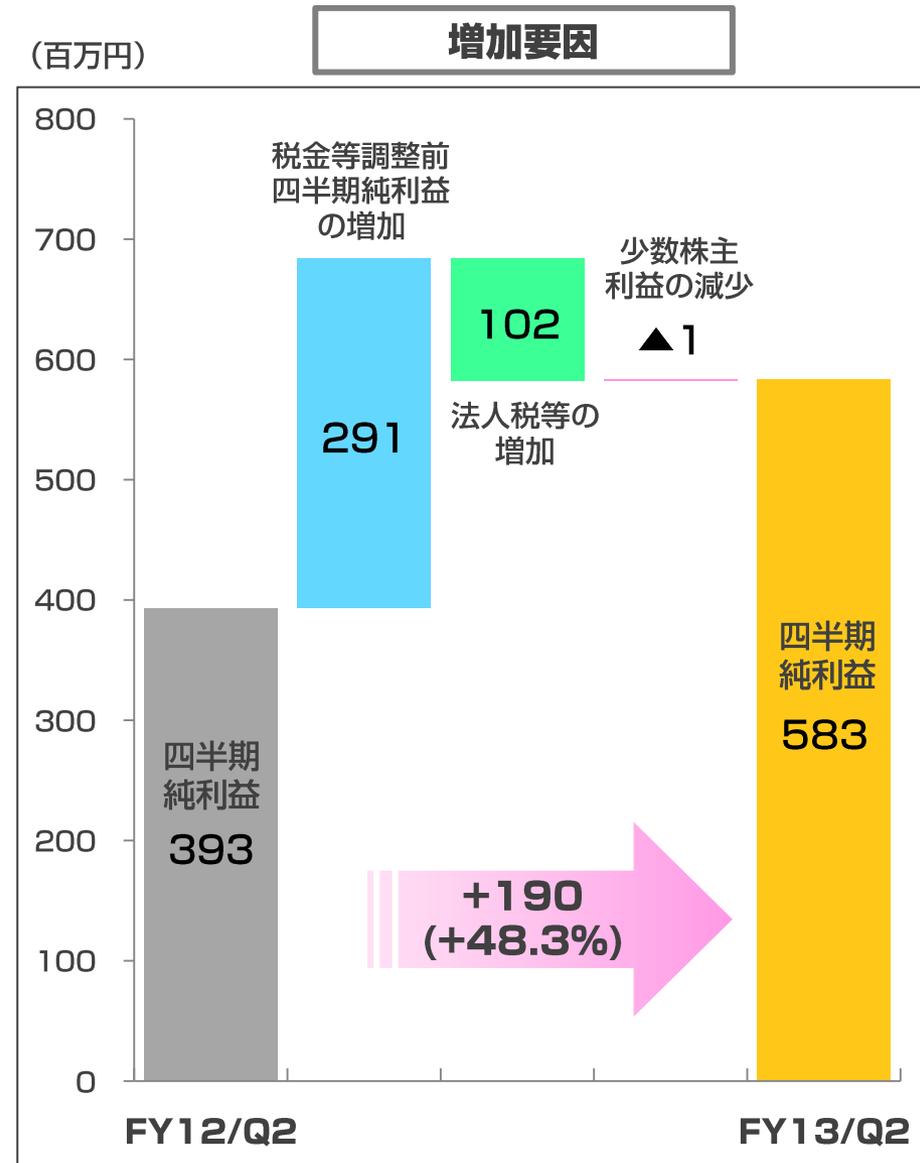
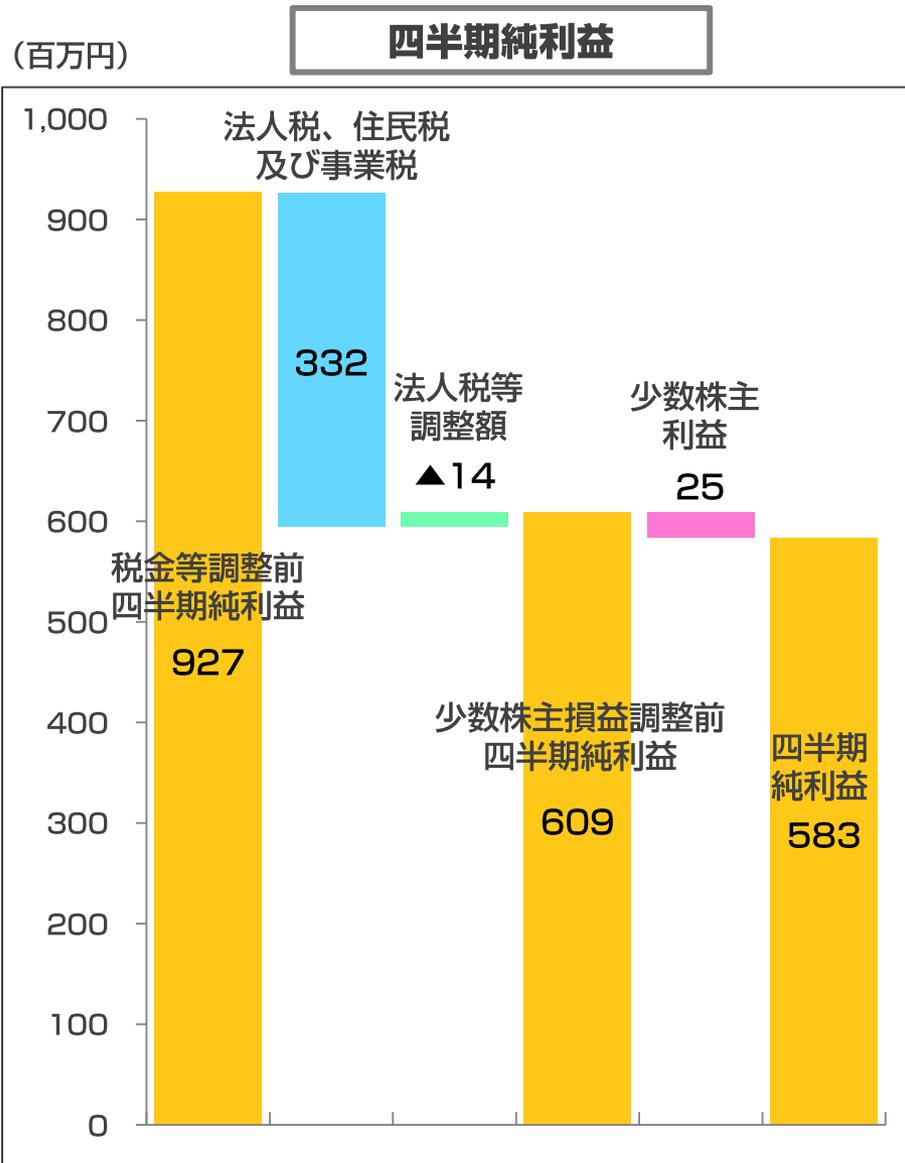


(百万円)

経常利益



連結P/L (5) 四半期純利益



連結 P/L サマリー

(百万円)

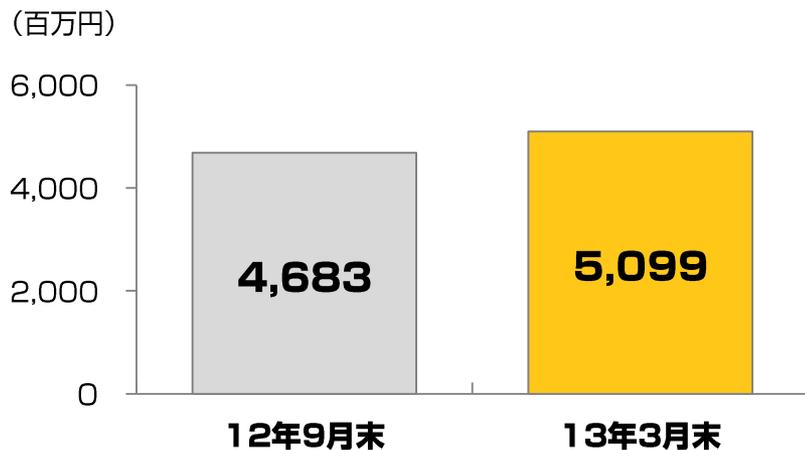
	FY12/Q2	FY13/Q2	増減額	増減率
売上高	5,432	6,132	700	12.9%
売上総利益	1,561 (28.7%)	1,844 (30.1%)	283	18.2%
販売費及び一般管理費	966 (17.8%)	1,072 (17.5%)	105	10.9%
営業利益	594 (10.9%)	772 (12.6%)	177	29.9%
経常利益	638 (11.8%)	953 (15.6%)	317	49.7%
四半期純利益	393 (7.3%)	583 (9.5%)	190	48.4%

※ () = 売上高比率

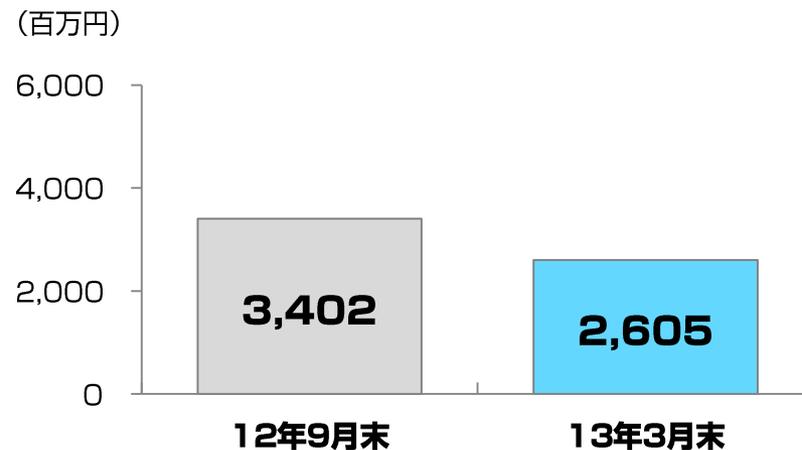
連結B/Sの状況

連結B/Sの状況

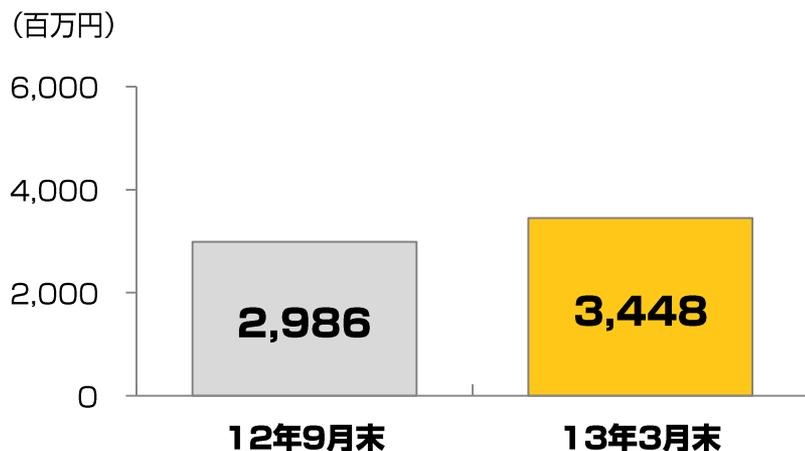
流動資産



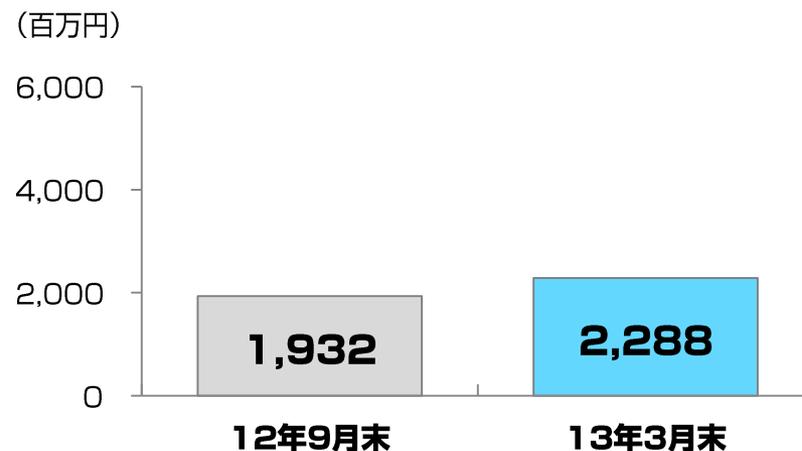
流動負債



固定資産



固定負債



連結B/S (1) 資産の部

(百万円)

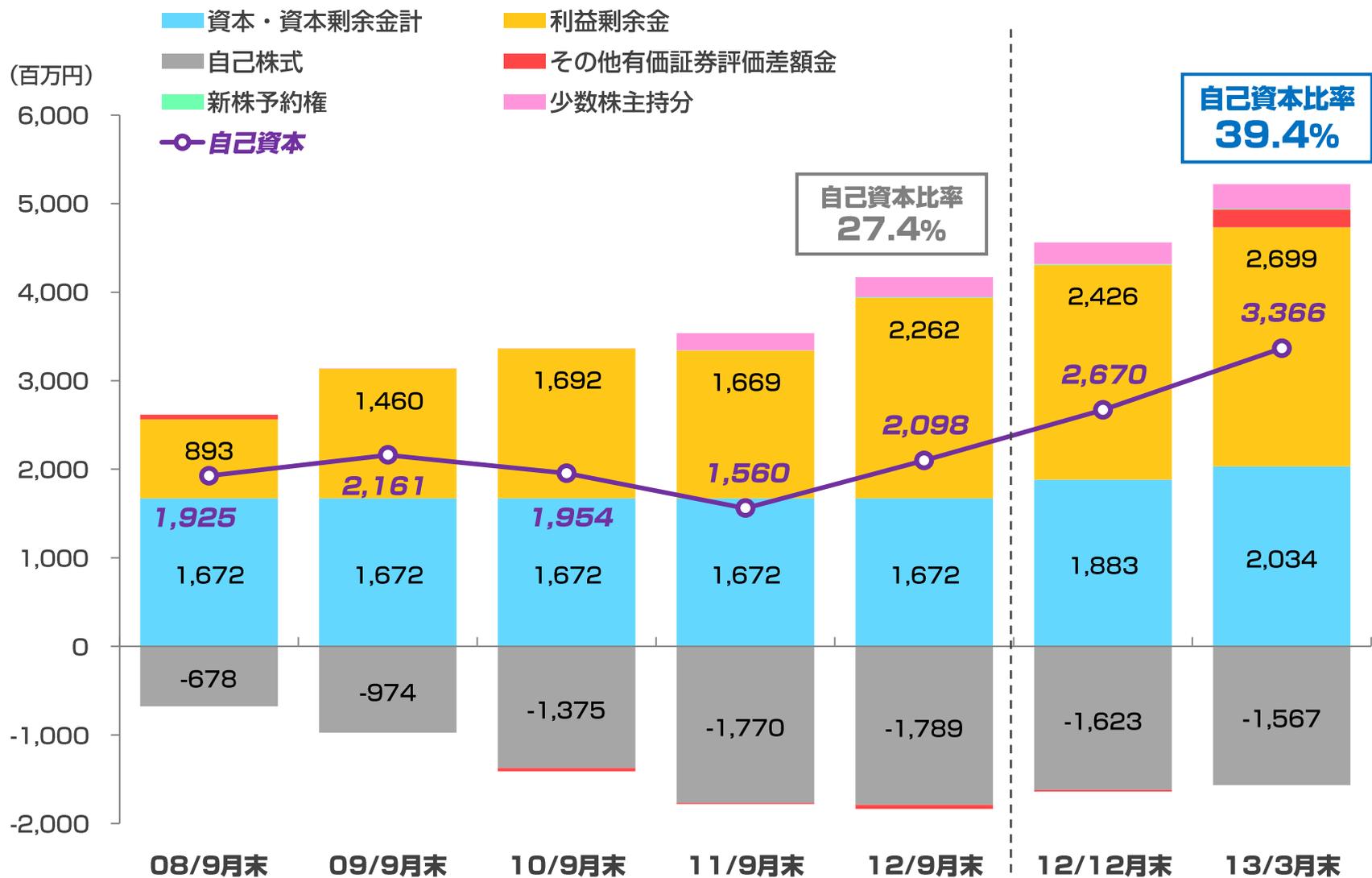
	2012年9月末	2013年3月末	増減額	摘要
資産の部	7,669	8,547	877	
流動資産	4,683	5,099	415	
現金及び預金	2,557	3,070	512	営業活動による増加
受取手形及び売掛金	1,626	1,723	97	
有価証券	7	12	5	
たな卸資産	1	0.9	▲0.2	
その他	575	374	▲201	
貸倒引当金	▲84	▲82	2	
固定資産	2,986	3,448	461	
有形固定資産	1,412	1,412	0.4	
建物及び構築物	738	769	30	
その他	673	643	▲29	
無形固定資産	666	619	▲46	
のれん	628	586	▲41	規則的な償却による減少
その他	37	33	▲4	
投資その他の資産	907	1,415	507	
投資有価証券	688	1,171	483	
その他	305	299	▲6	
貸倒引当金	▲86	▲55	30	

連結B/S (2) 負債・純資産の部

(百万円)

	2012年9月末	2013年3月末	増減額	摘要
負債の部	5,334	4,893	▲440	
流動負債	3,402	2,605	▲796	
買掛金	14	11	▲2	
短期借入金	975	416	▲558	
1年内返済予定の長期借入金	850	724	▲126	
未払法人税等	442	340	▲101	
賞与引当金	176	180	3	
その他	942	932	▲10	
固定負債	1,932	2,288	356	
長期借入金	1,509	1,745	236	運転資金
退職給付引当金	254	262	7	
資産除去債務	3	2	▲0.8	
その他	164	277	113	
純資産の部	2,335	3,654	1,318	
株主資本	2,144	3,166	1,021	
資本金	805	805	—	
資本剰余金	867	1,229	361	自己株式の処分による増加
利益剰余金	2,262	2,699	437	四半期純利益による増加
自己株式	▲1,789	▲1,567	222	第三者割当てによる増加
その他の包括利益累計額	▲46	200	246	
その他有価証券評価差額金	▲46	200	246	
新株予約権	10	11	1	
少数株主持分	226	275	49	

連結B/S (3) 自己資本推移

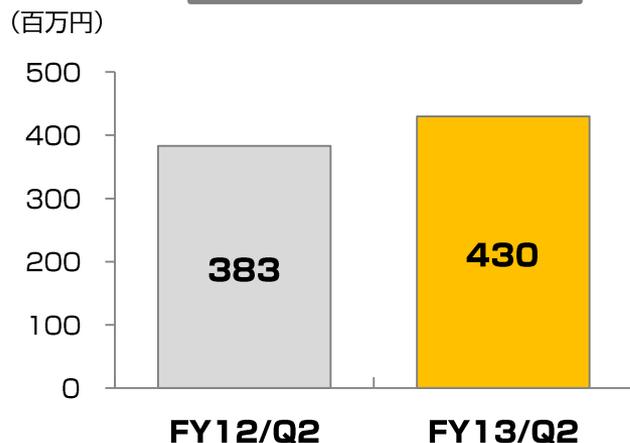


※ 自己資本=純資産-少数株主持分-新株予約権

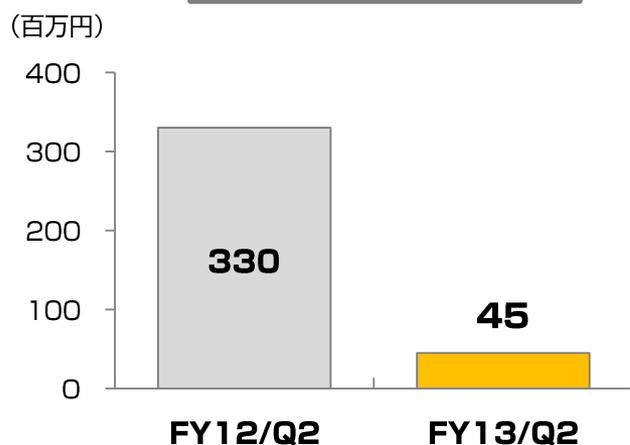
連結C/Fの状況

連結C/Fの状況 (1)

営業CF



投資CF



(百万円)

FY12/Q2		FY13/Q2	
税金等調整前 四半期純利益	635	税金等調整前 四半期純利益	927
のれん償却額	47	のれん償却額	41
売上債権の増減額	▲205	投資有価証券売却 損益 (▲は益)	▲56
法人税等の支払額	▲104	売上債権の増減額 (▲は増加)	▲93
		法人税等の支払額	▲434

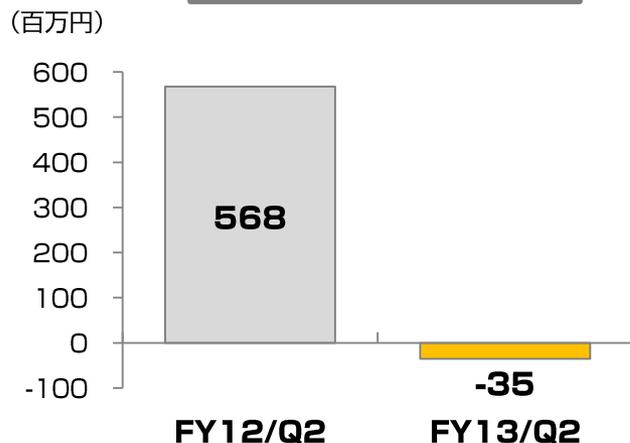
(百万円)

FY12/Q2		FY13/Q2	
定期預金の増減額 (▲は増加)	748	投資有価証券の 取得による支出	▲751
投資有価証券の 取得による支出	▲472	投資有価証券の 売却による収入	740
投資有価証券の 売却による収入	126	出資金の分配による 収入	49
貸付による支出	▲56		

※連結キャッシュ・フロー計算書の項目で、主なものを記載しています。

連結C/Fの状況 (2)

財務CF



現金及び現金同等物の四半期末残高



(百万円)

FY12/Q2		FY13/Q2	
短期借入金の純増減額 (▲は減少)	1,238	短期借入金の純増減額 (▲は減少)	▲558
長期借入による収入	1,550	長期借入による収入	670
長期借入金の返済による支出	▲872	長期借入金の返済による支出	▲560
社債の償還による支出	▲1,255	自己株式の処分による収入	581
		配当金の支払額	▲146

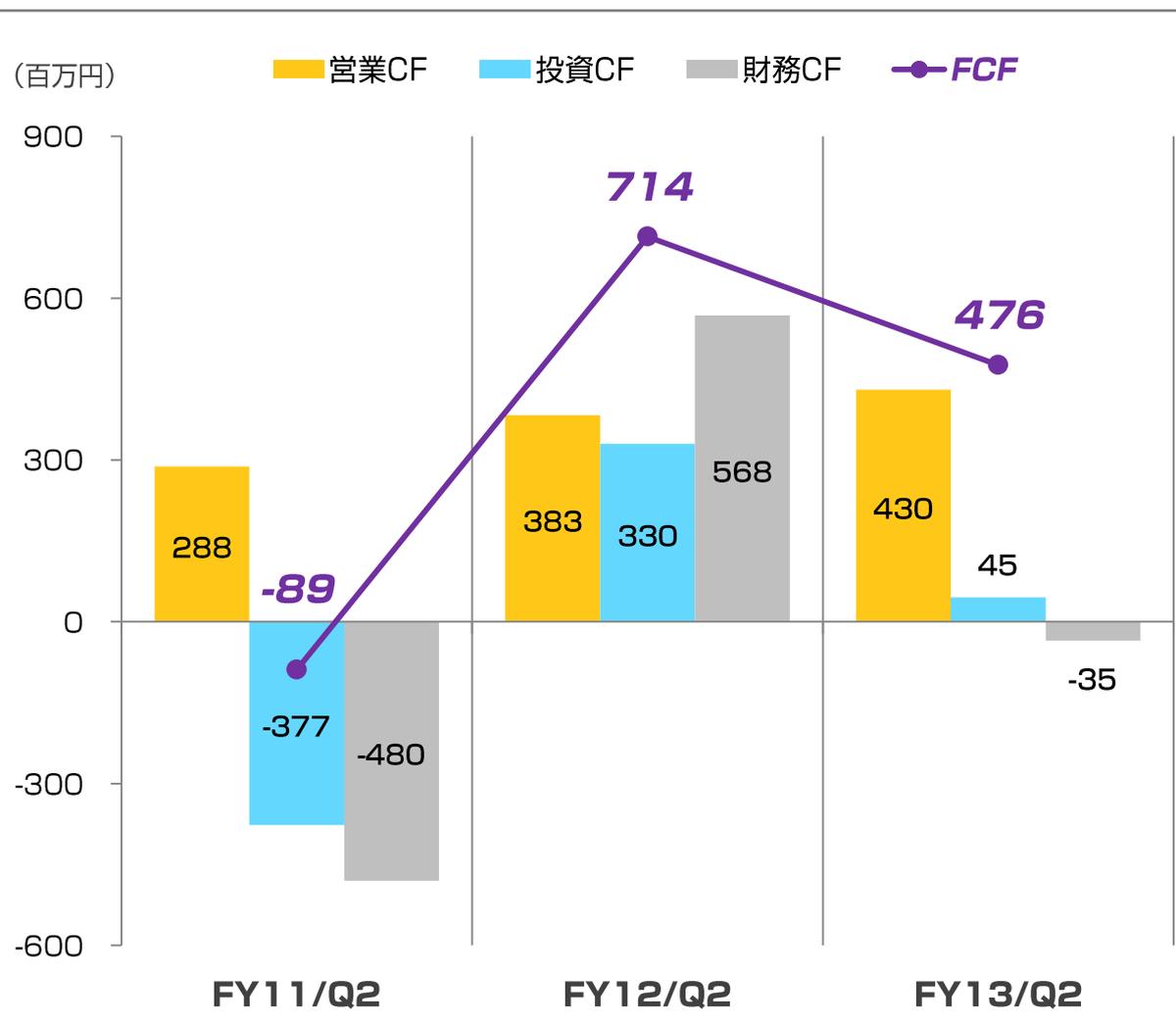
(百万円)

	FY12/Q2	FY13/Q2
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	1,282	442
現金及び現金同等物の期首残高	1,534	2,649

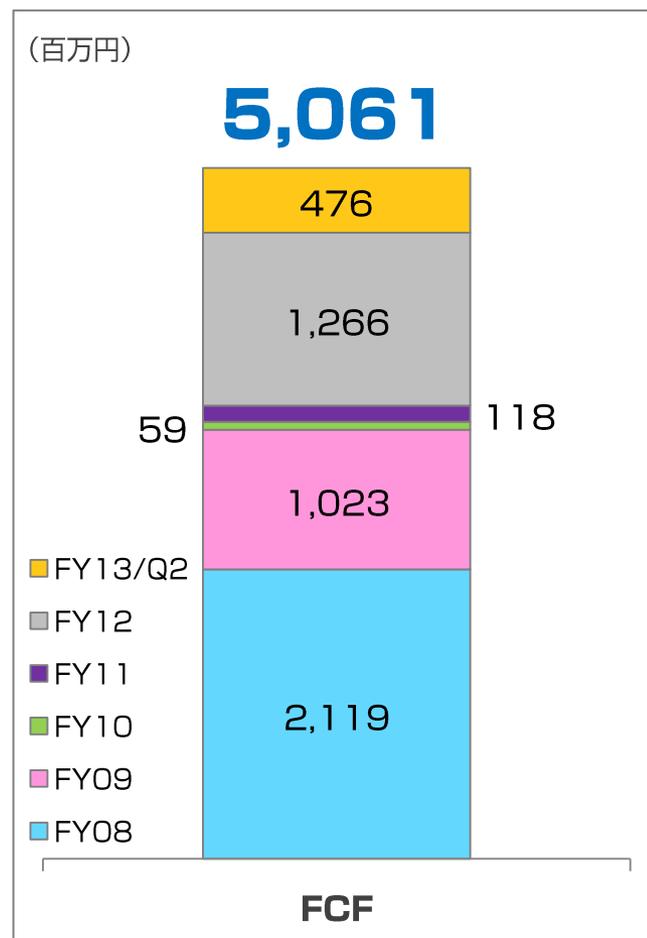
※連結キャッシュ・フロー計算書の項目で、主なものを記載しています。

連結C/Fの状況 (3) FCFの推移

キャッシュ・フローの推移



**5年で50億円
積み増し**

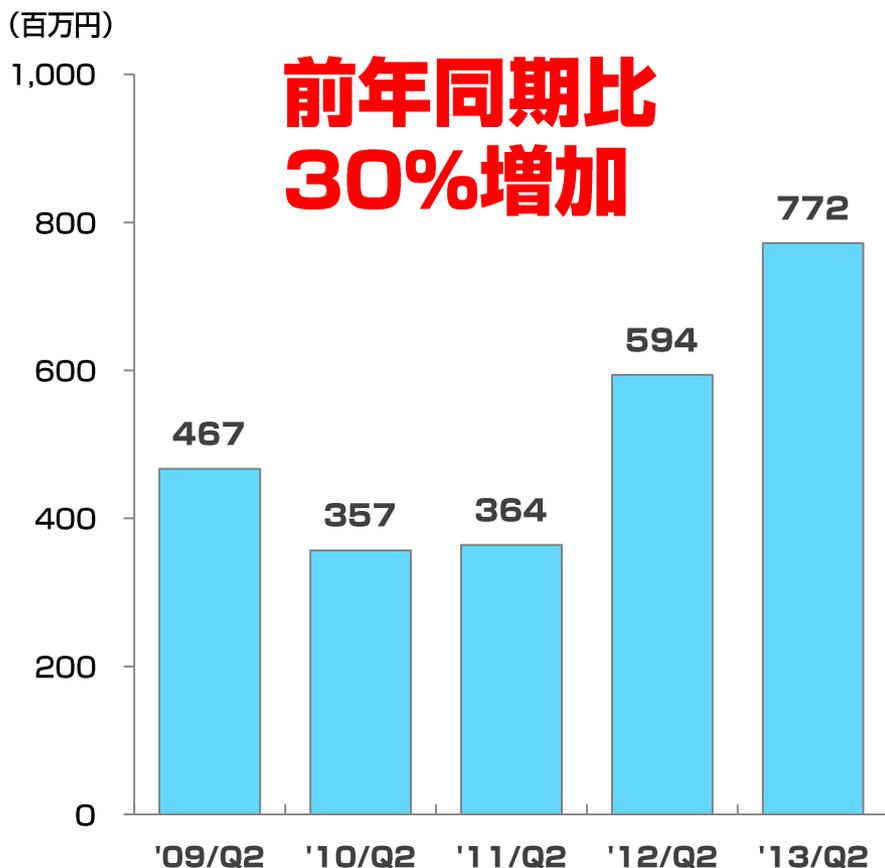


※フリー・キャッシュ・フロー (FCF) = 営業CF + 投資CF

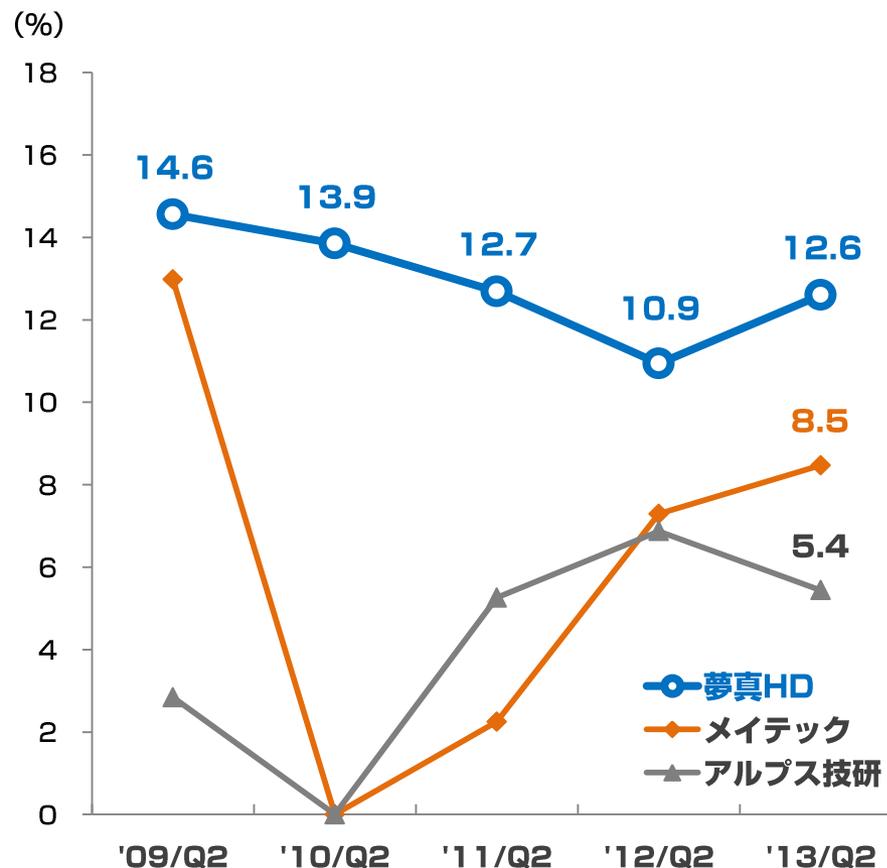
財務指標

財務指標（1） 営業利益

営業利益



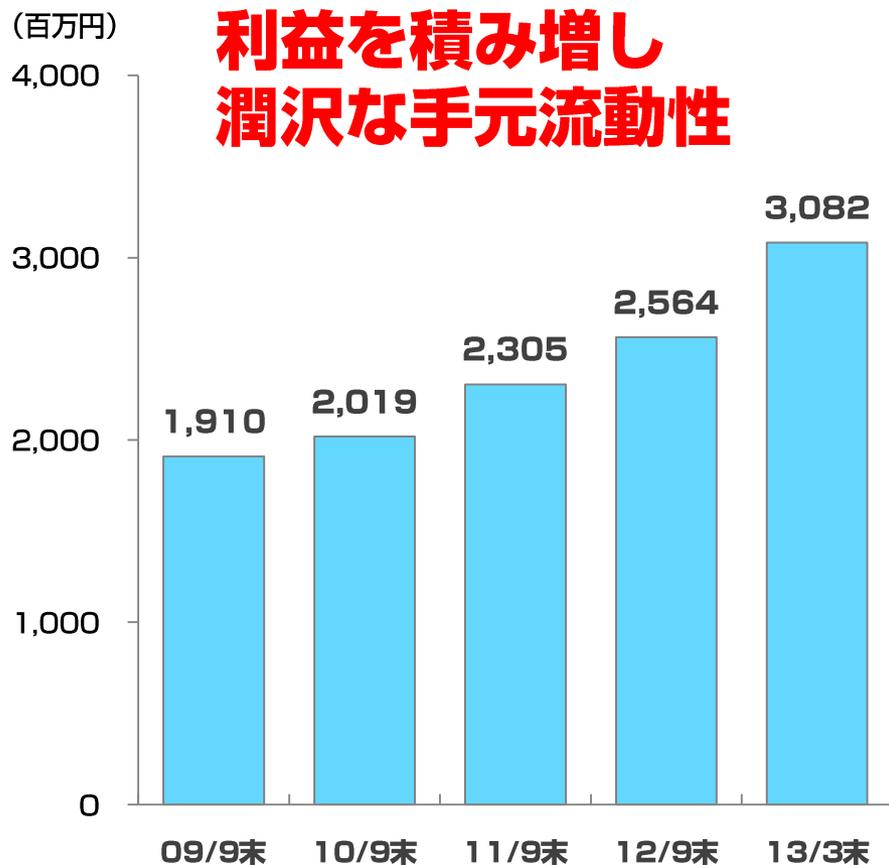
営業利益率



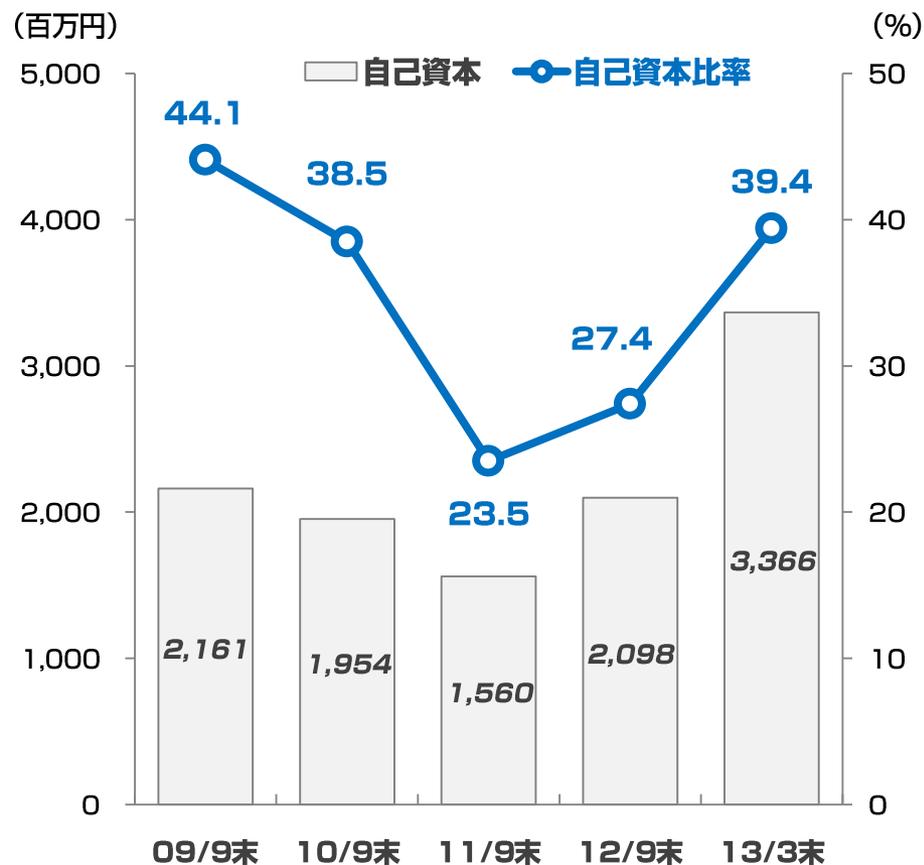
- ※ 1. 営業利益率 = 営業利益 ÷ 売上高
- 2. 他社営業利益率は各社開示資料を基に当社作成

財務指標 (2) 手元流動性・自己資本

手元流動性



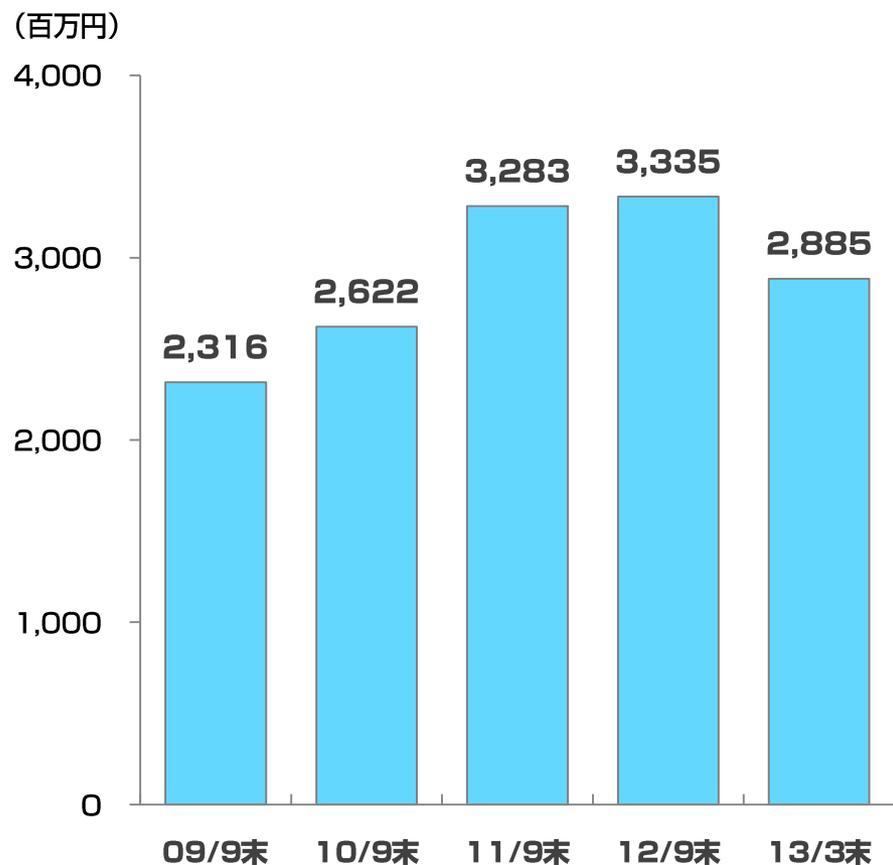
自己資本比率



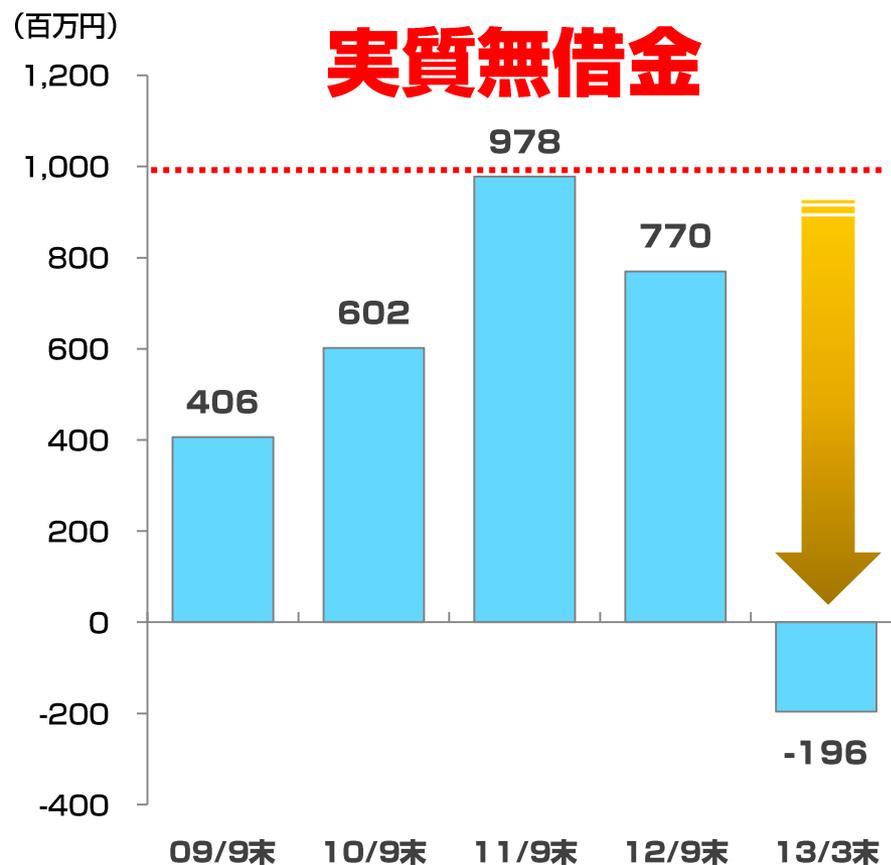
- ※ 1. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券
- 2. 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権
- 3. 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

財務指標 (3) 有利子負債

有利子負債



純有利子負債

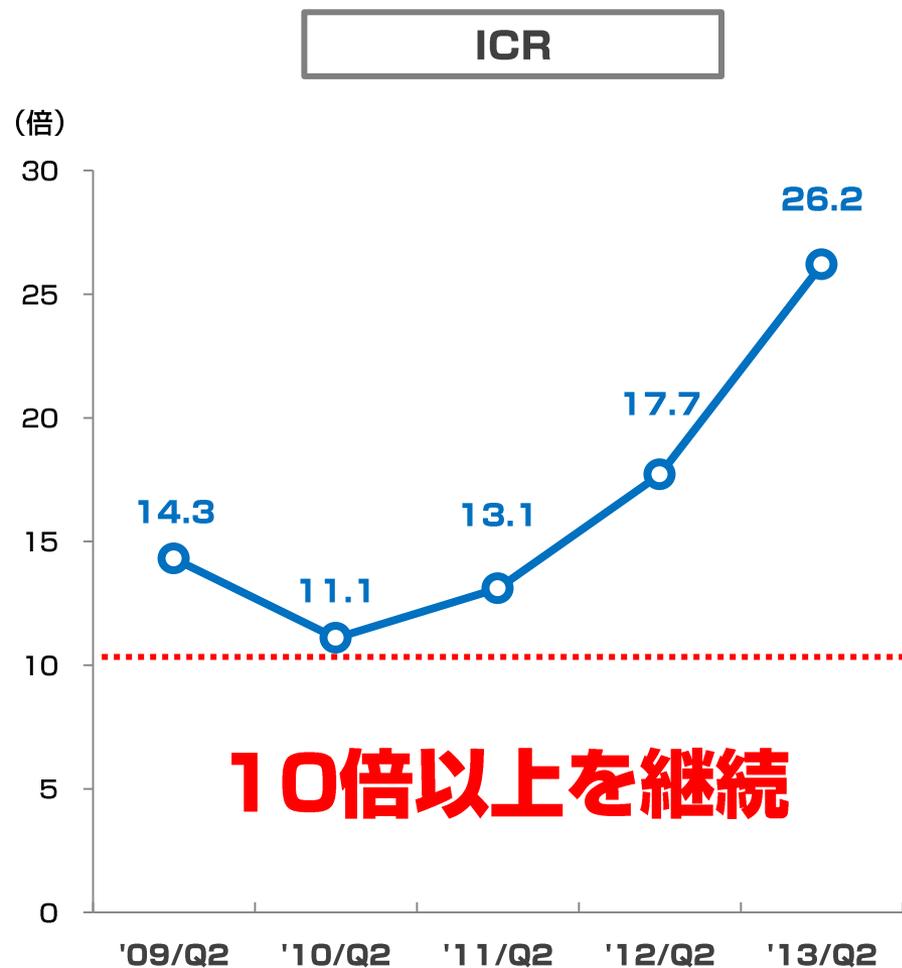
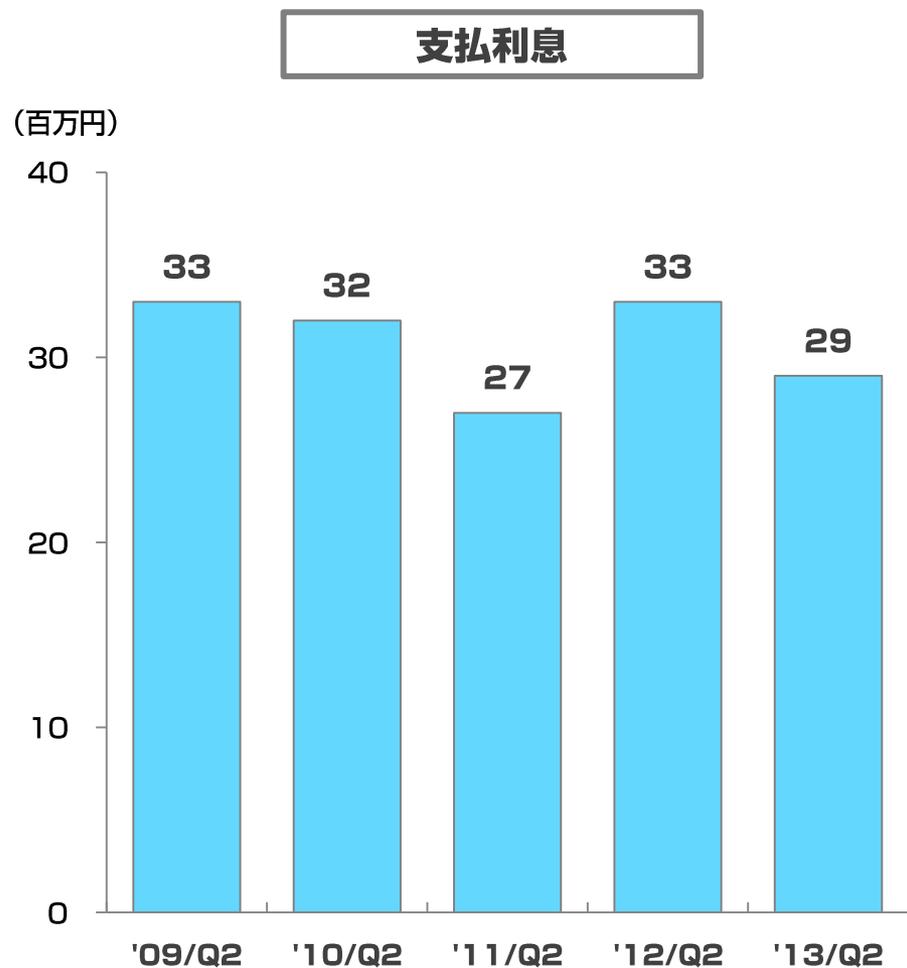


※ 1. 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

2. 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金 + 一年以内返済予定長期借入金 + 社債 (リース負債含まず)

3. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

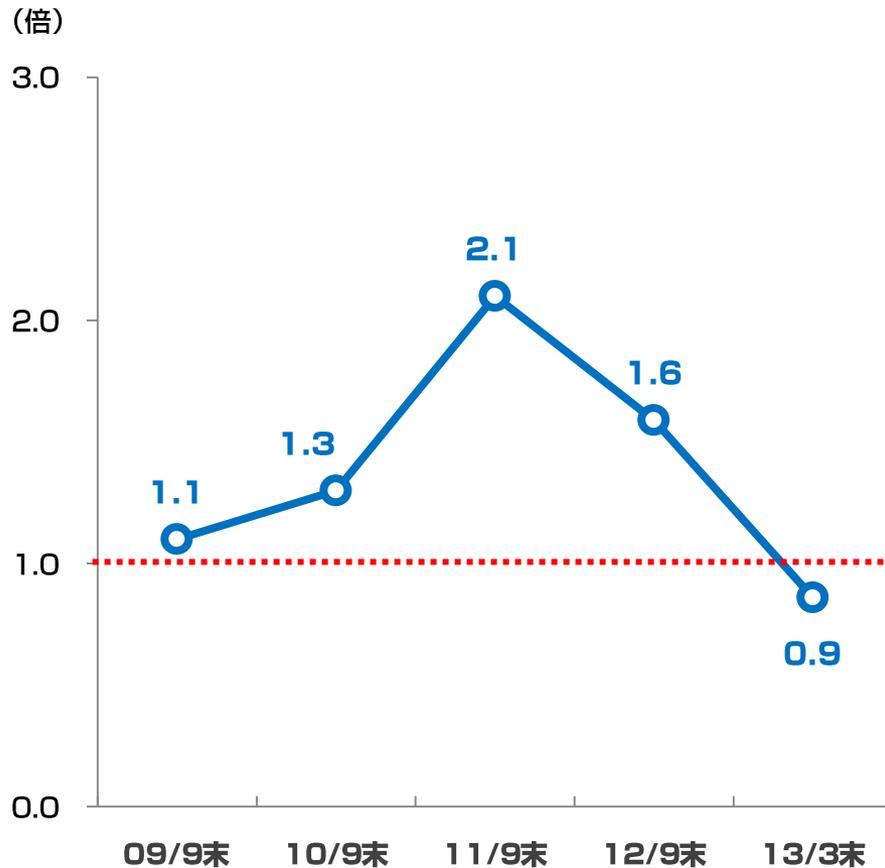
財務指標 (4) 支払利息・ICR



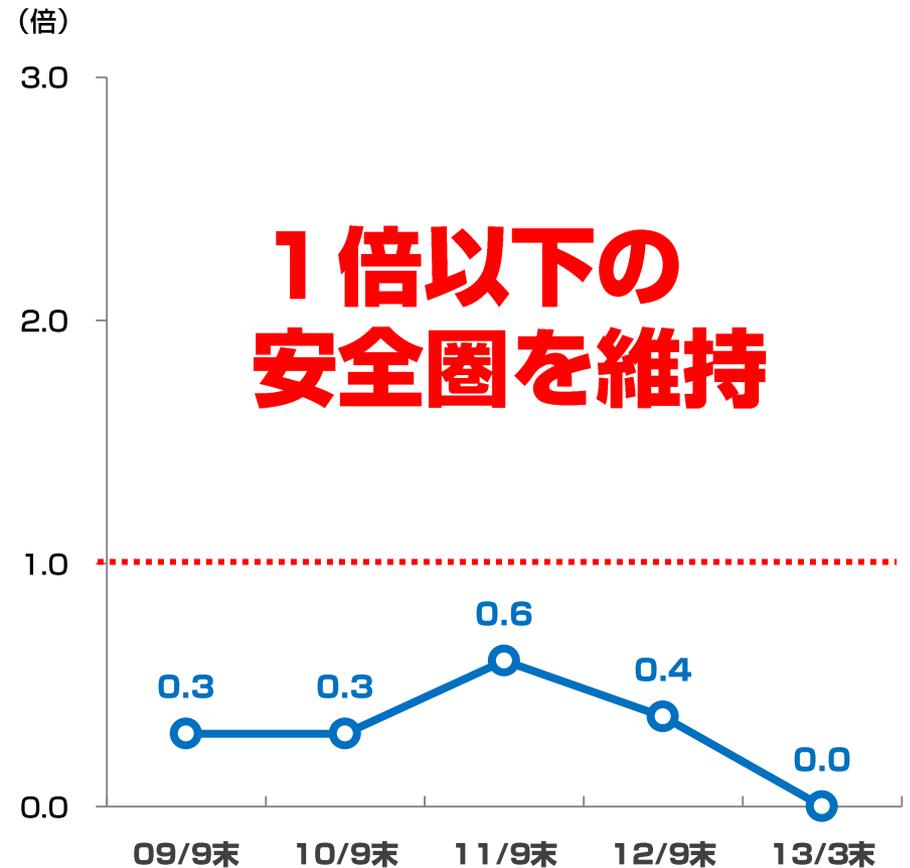
- ※ 1. インタレスト・カバレッジ・レシオ (ICR) = 事業利益 ÷ 支払利息
2. 事業利益 = 営業利益 + 受取利息 + 受取配当金 + 持分法による投資損益

財務指標 (5) D/Eレシオ

D/Eレシオ



ネットD/Eレシオ



- ※ 1. ネットD/Eレシオ＝純有利子負債÷自己資本
- 2. D/Eレシオ＝有利子負債÷自己資本
- 3. 純有利子負債＝有利子負債－手元流動性
- 4. 有利子負債＝短期借入金＋長期借入金＋一年以内返済予定長期借入金＋社債（リース負債含まず）
- 5. 手元流動性＝現金及び預金＋流動資産に含まれる有価証券

連結 B/S サマリー

(百万円)

	12年9月末	13年3月末	増減
自己資本	2,098	3,366	1,267
自己資本比率	27.4%	39.4%	12.0pt.
手元流動性	2,564	3,082	517
有利子負債	3,335	2,885	▲449
D/Eレシオ	1.59倍	0.86倍	▲0.73pt.

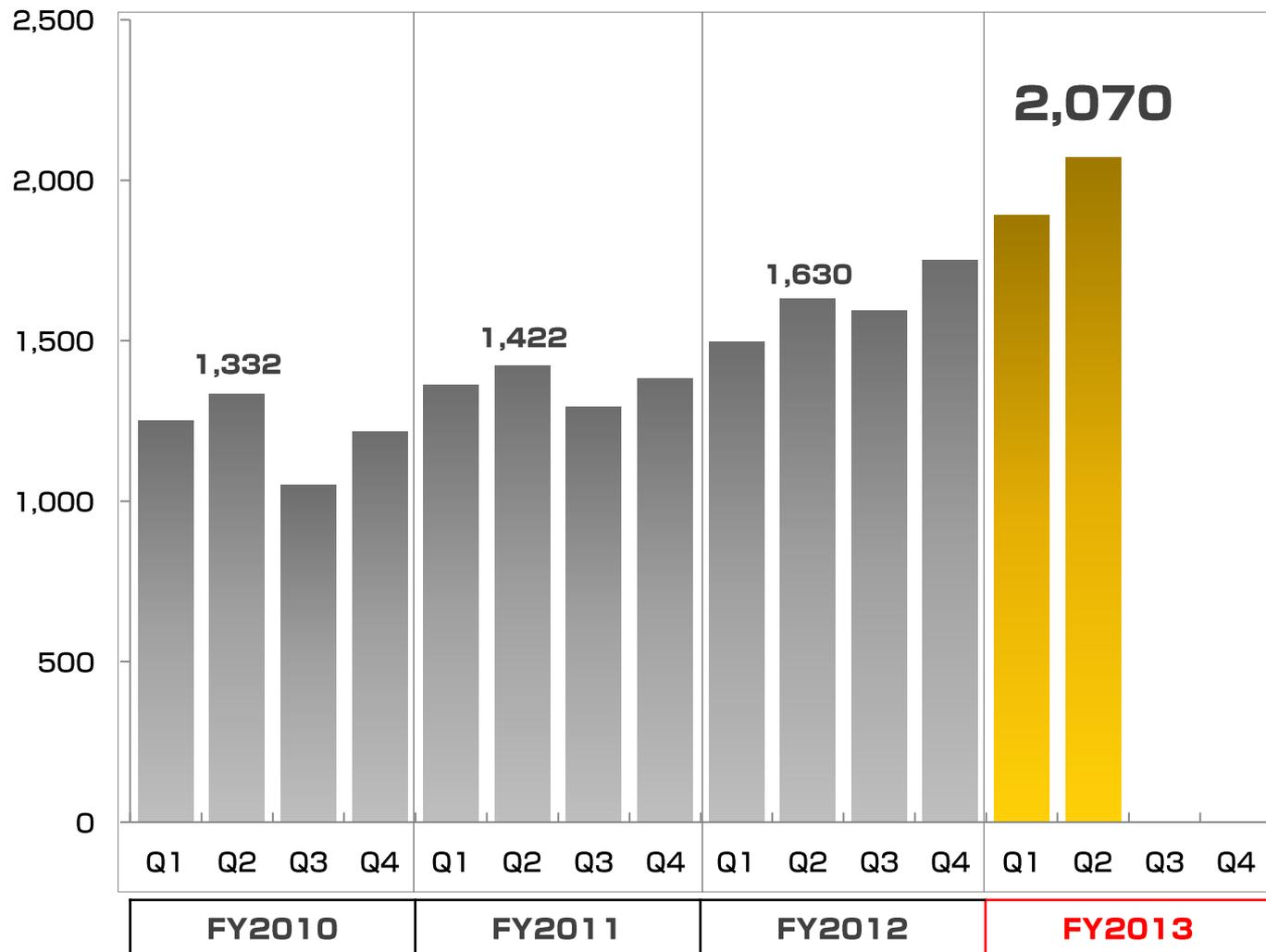
セグメント別概要

建築技術者派遣事業

四半期別 売上高

技術者の増員に合わせ増収

(百万円)



前年同期比
26.8%増

売上構成4指標

技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

×

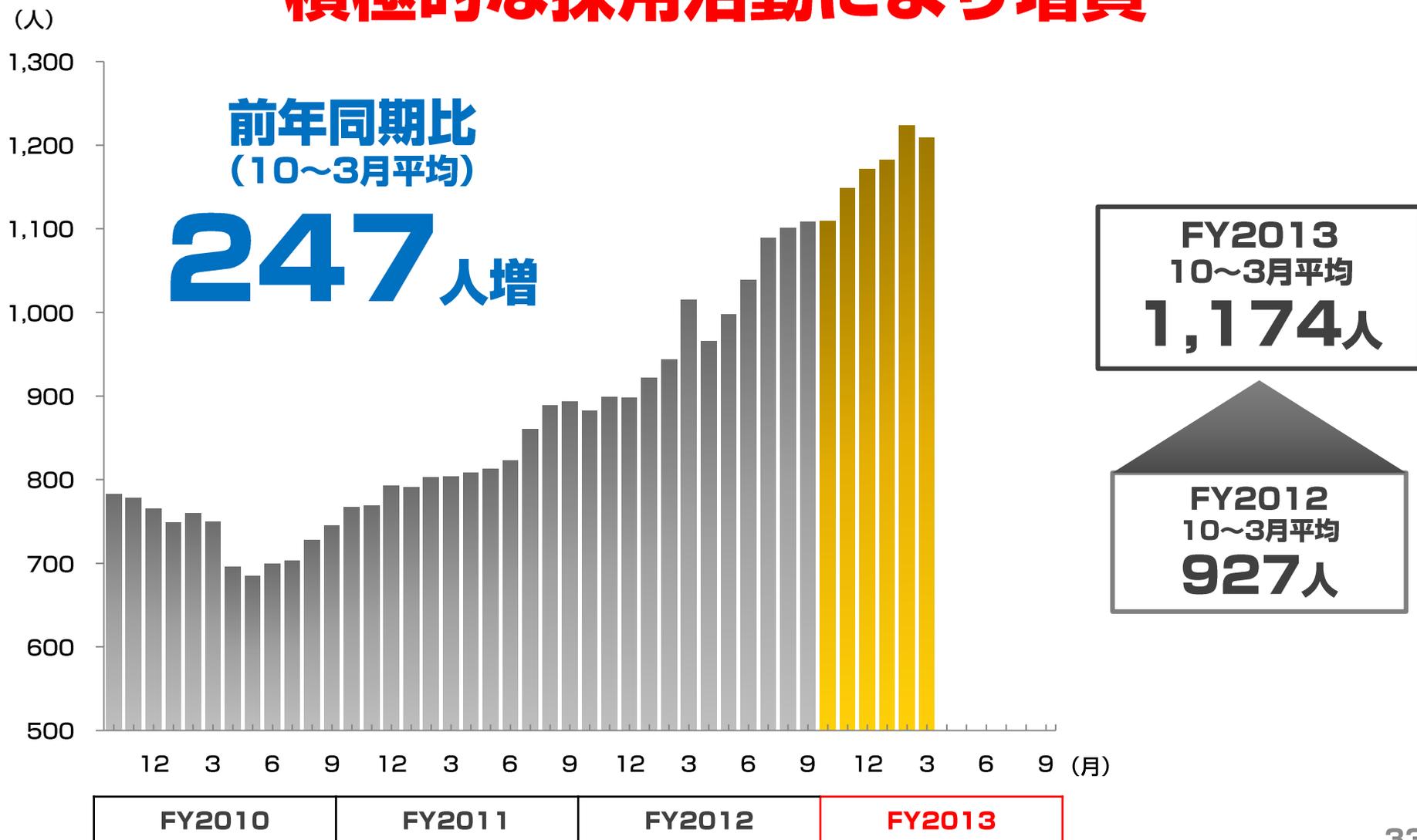
派遣単価



売上高

売上構成指標（1）技術者数

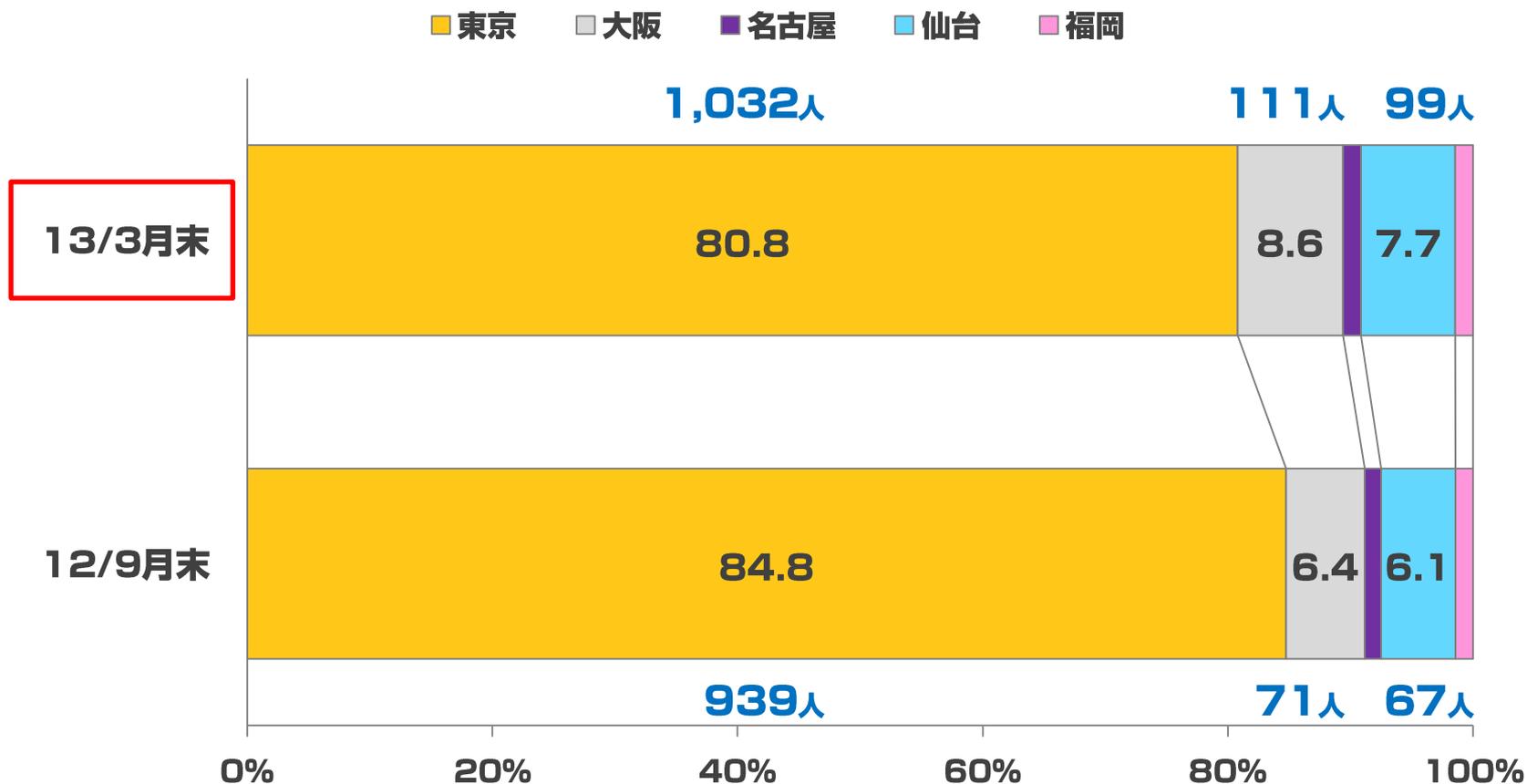
積極的な採用活動により増員



※ 各月末技術者数

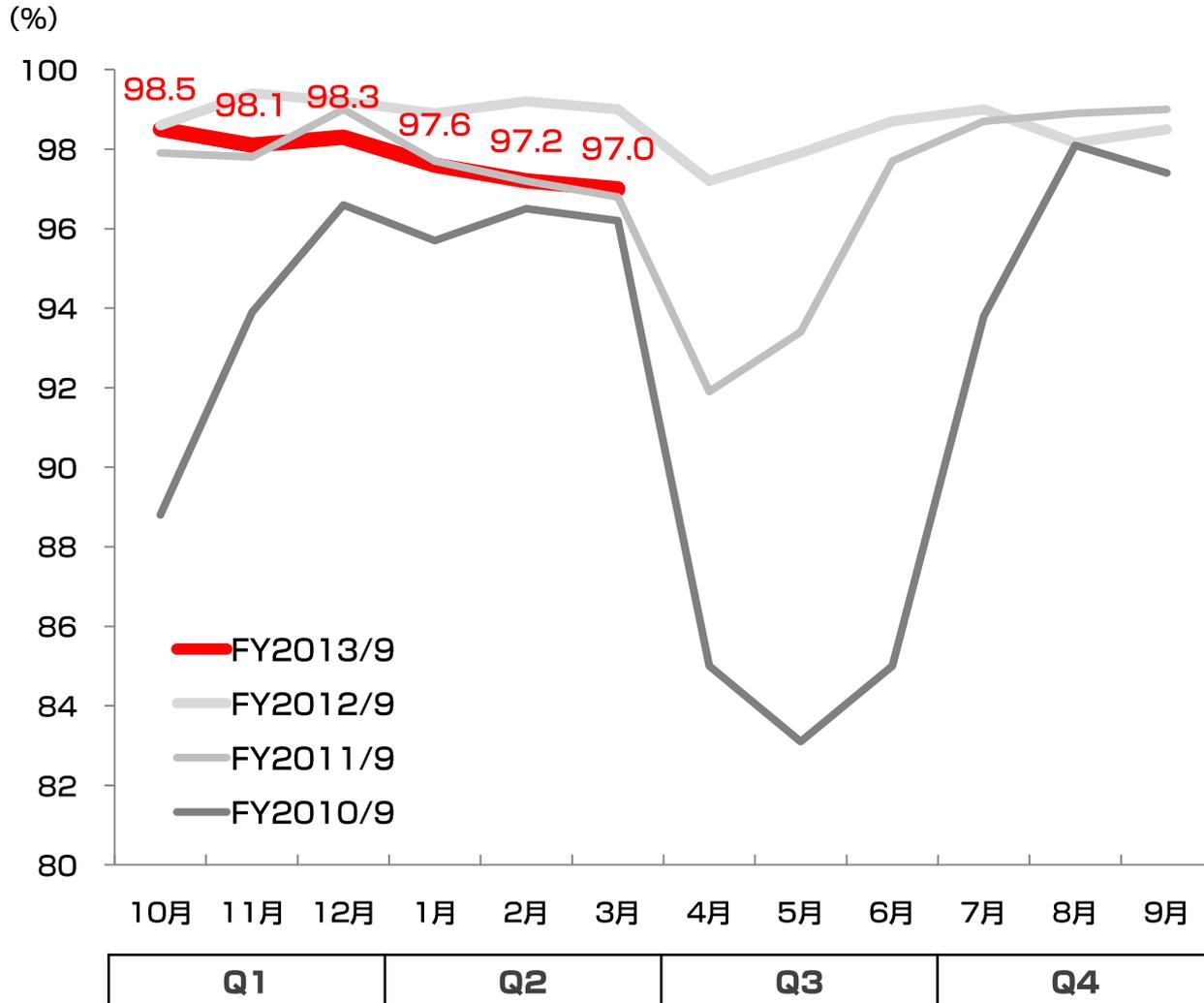
売上構成指標（1）技術者数 構成比

順調に増員 大阪・仙台の存在感増



売上構成指標 (2) 稼働率

大量採用と稼働率を両立

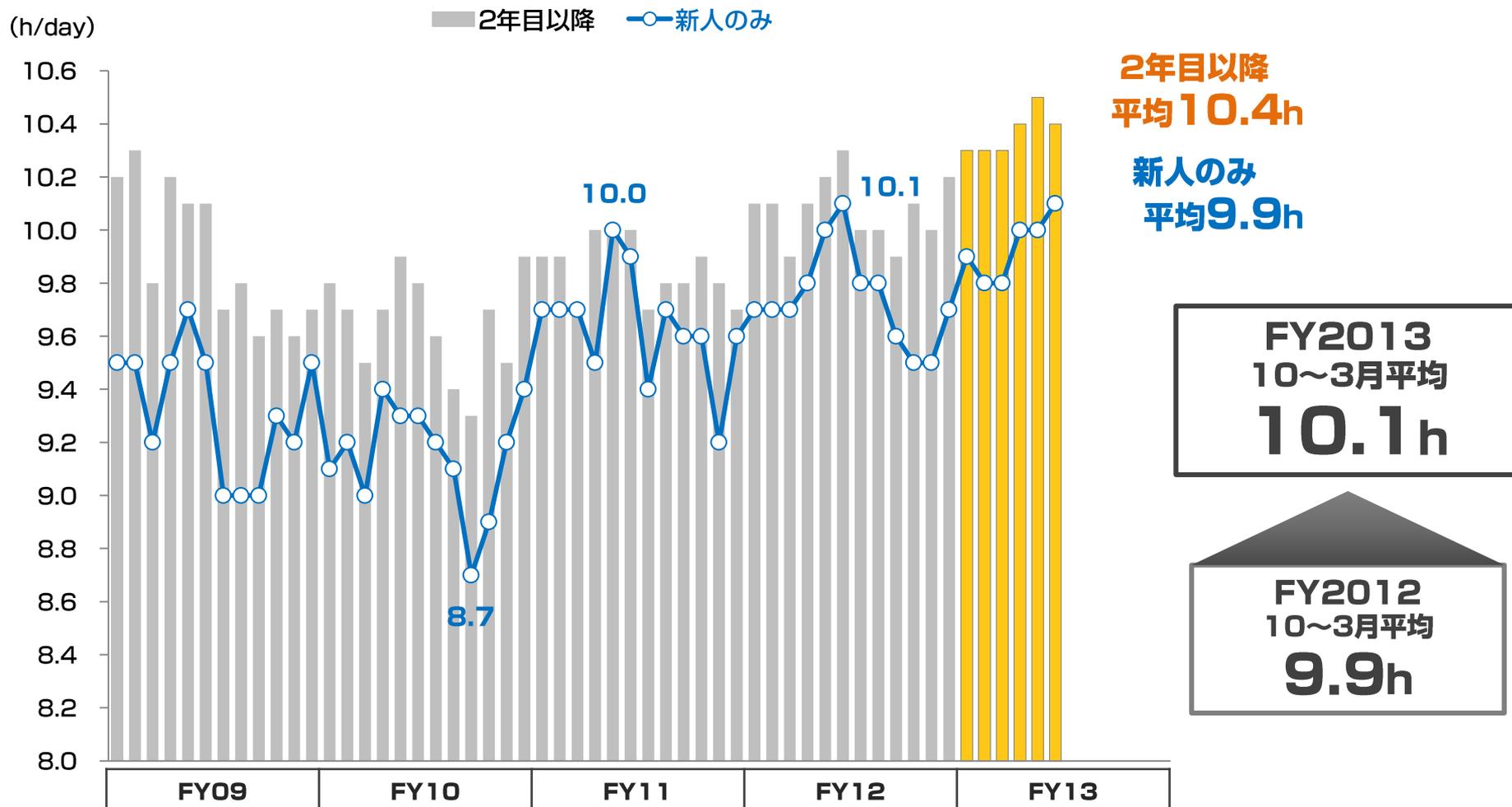


2013年9月期
(10~3月平均)

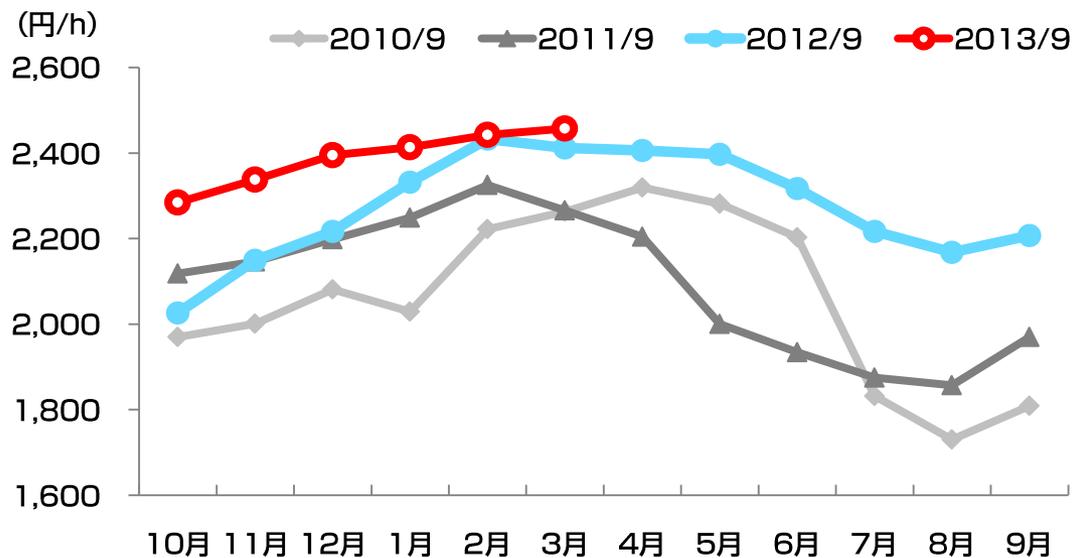
97.8%

売上構成指標 (3) 稼働時間

技術者不足を背景に上昇



売上構成指標 (4) 派遣単価

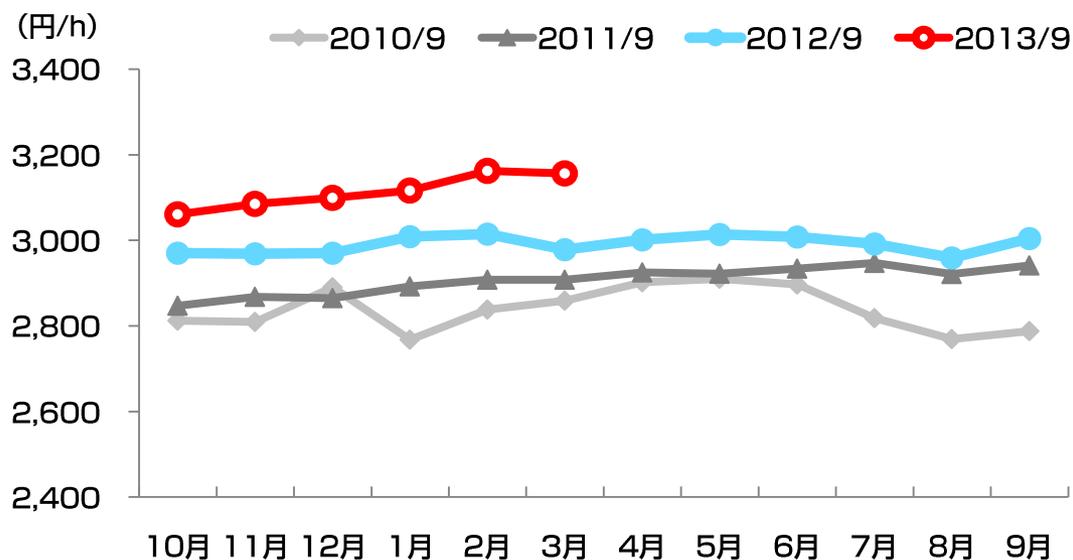


新人のみ

前年同期比
5.6%増

新人割合
45.9%

12年9月末
41.4%



2年目以降

前年同期比
4.3%増

2年目以降割合
54.1%

12年9月末
58.6%

売上構成4指標 サマリー

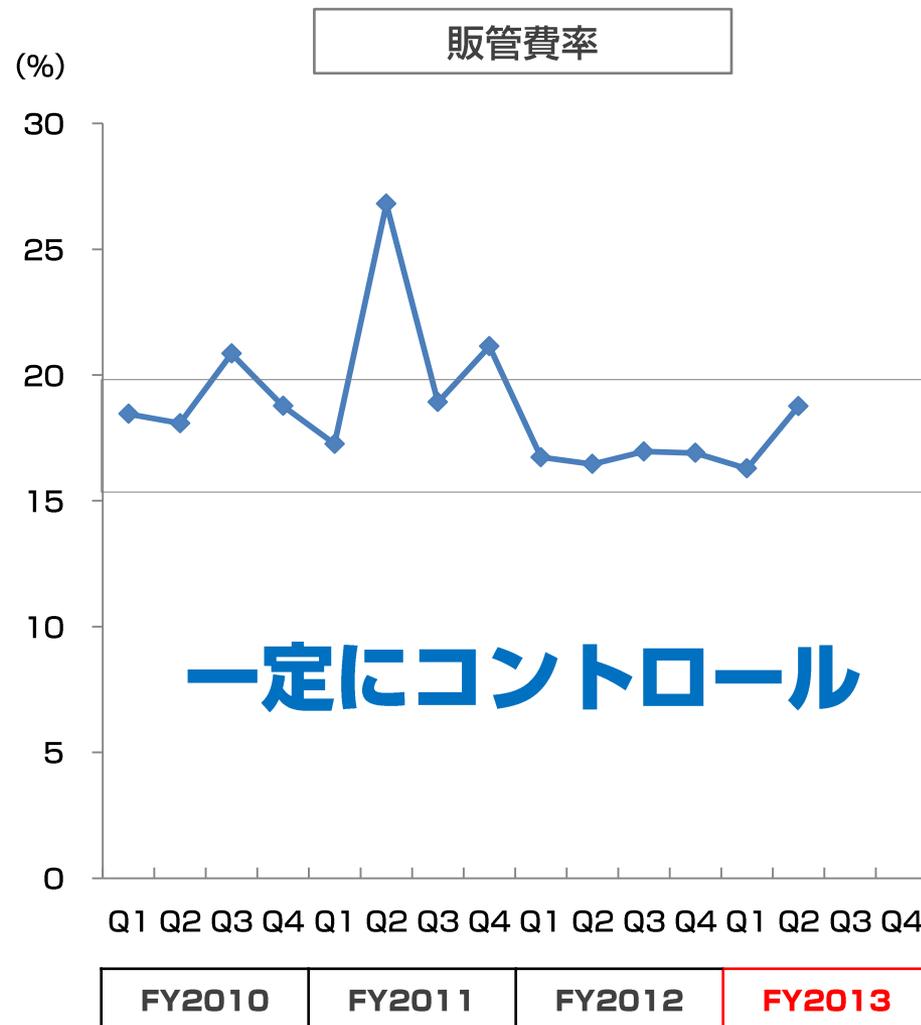
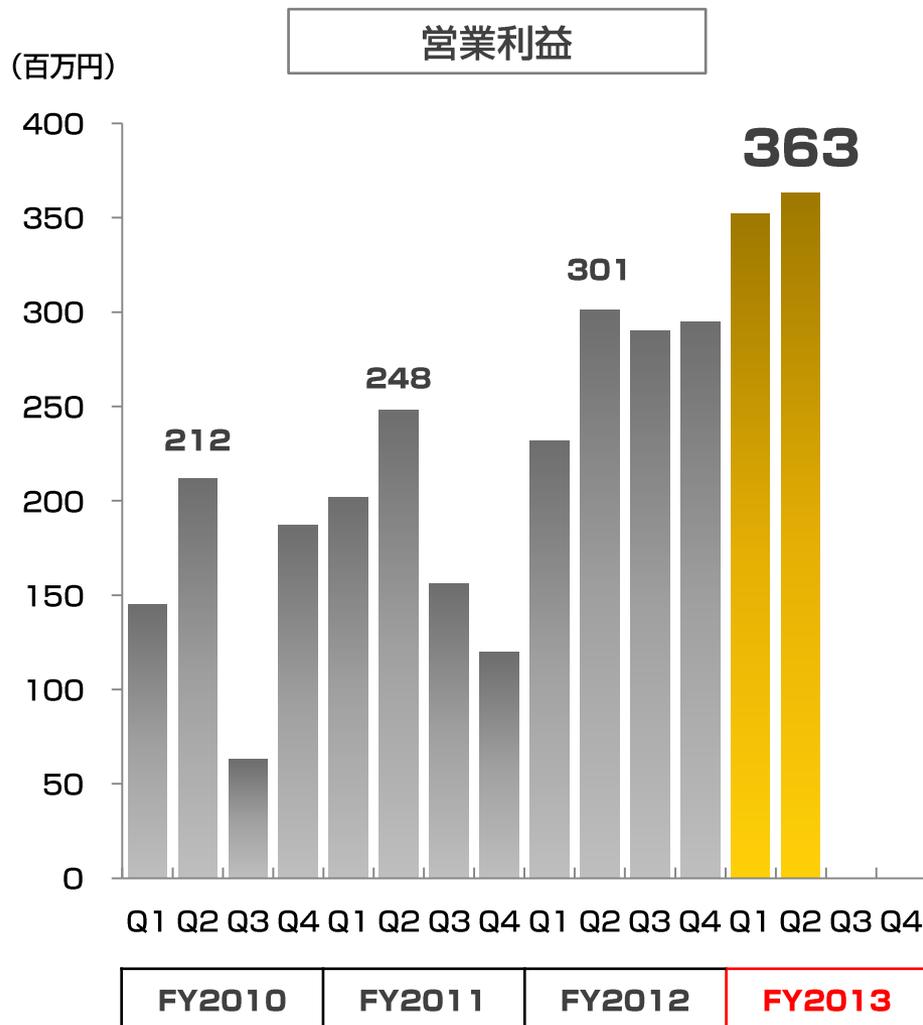
10~3月平均

	FY12/Q2	FY13/Q2	増減
技術者数	927人	1,174人	247人
稼働率	99.1%	97.8%	▲1.3pt.
稼働時間	9.9h	10.1h	0.2h
派遣単価	2,821yen	2,836yen	15yen

堅調に推移

四半期別 営業利益

前年同期比34.0%増



単体 P/L サマリー

(百万円)

	FY12/Q2	FY13/Q2	増減額	増減率
売上高	3,126	3,962	836	26.8%
売上総利益	1,053 (33.7%)	1,412 (35.7%)	359	34.1%
販売費及び一般管理費	518 (16.6%)	696 (17.6%)	177	34.3%
営業利益	534 (17.1%)	716 (18.1%)	181	34.0%
経常利益	510 (16.3%)	849 (21.5%)	338	66.4%
当期純利益	302 (9.7%)	545 (13.8%)	242	80.1%

※ () = 売上高比率

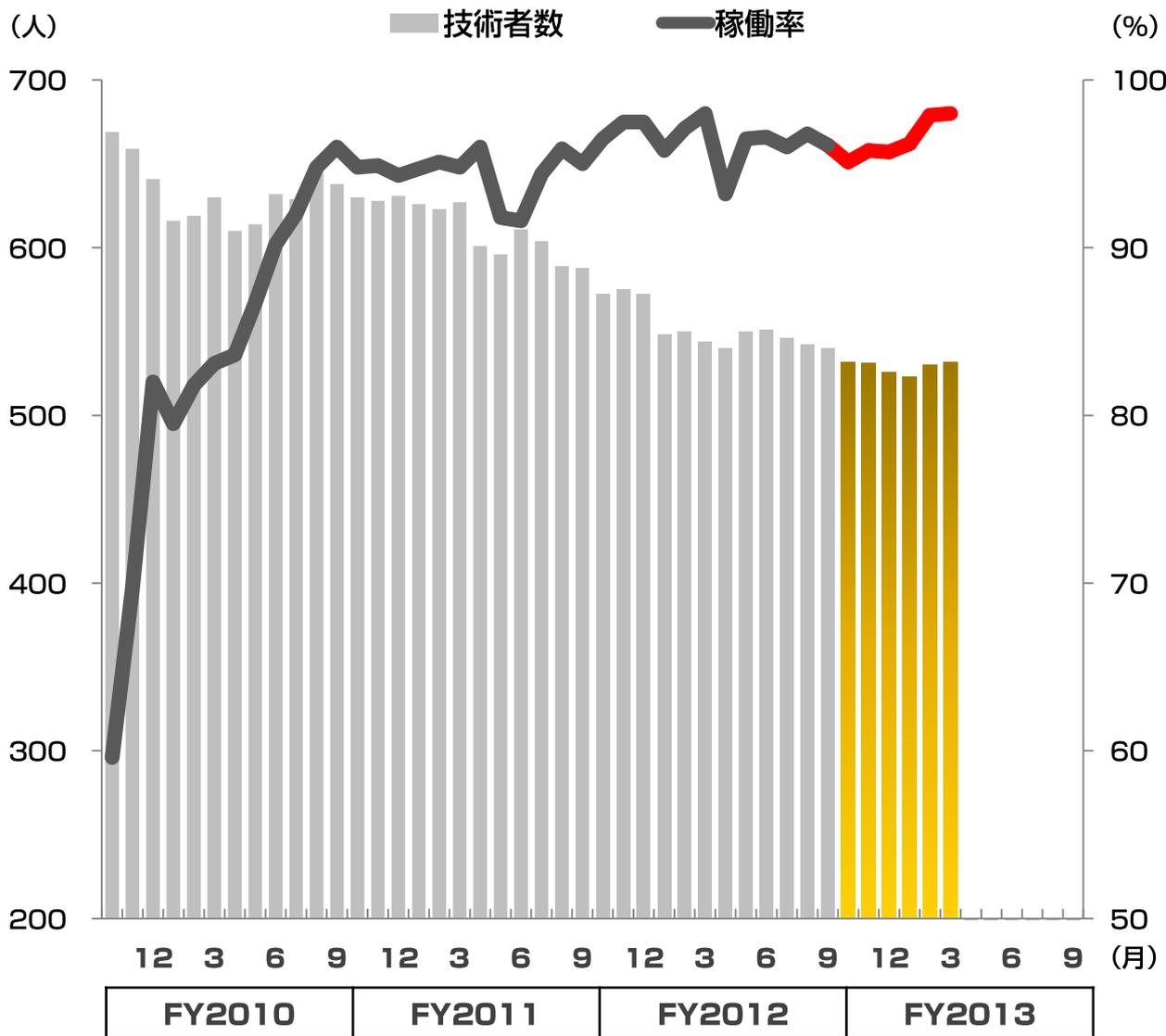
エンジニア派遣事業

経営資源 効率化

施策	摘要	効果
拠点・寮の統廃合	溝の口・岡崎寮廃止 本社・大阪・福岡を夢真HDと共用化	35百万円/年の削減
管理系の仕事集約	残業の抑制	70百万円/年の削減
旅費交通費の削減	支店長会議の廃止 不要な出張の削減	10百万円/年の削減
通信費の削減	通信方法の変更 不要なサーバの見直し	5百万円/年の削減
待機コストの削減	稼働率の向上	50百万円/年の削減
支払の見直し	購買の見直し等	20百万円/年の削減
社内制度の見直し	通勤交通費6ヶ月支給 寮制度の見直し	35百万円/年の削減

年間2.2億円の経費圧縮

技術者数の推移



2013年9月期
(10~3月平均)

96.5%

**稼働率重視
適正人数へ**

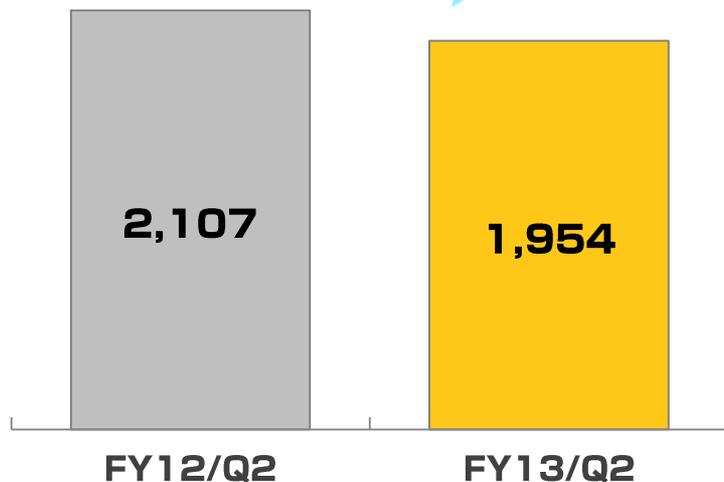
業績サマリー

技術者の減少で減収も 稼働率の改善・コスト効率化で増益に

売上高

(百万円)

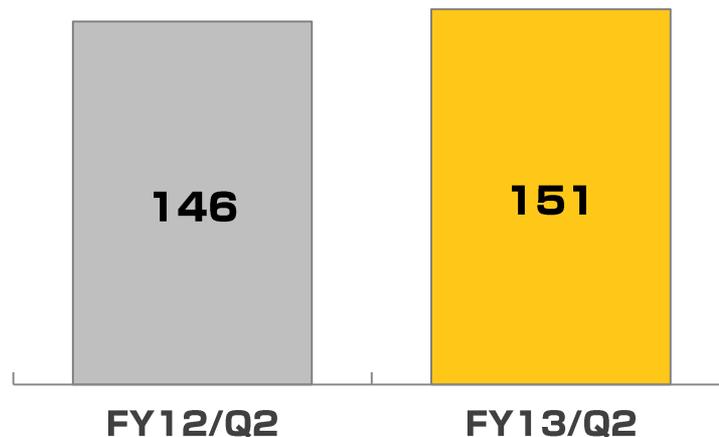
▲7.3%



経常利益

(百万円)

+3.3%

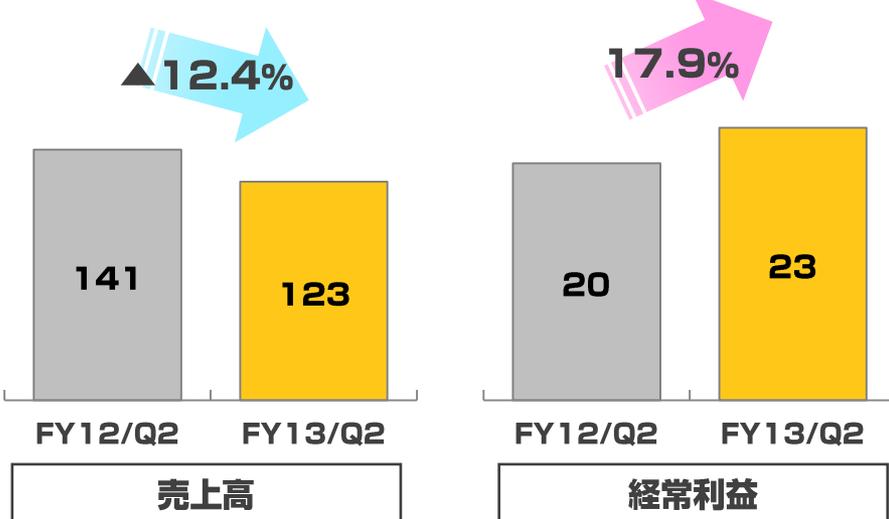


子育て支援事業
医療介護支援事業

子育て支援事業・医療介護支援事業

子育て支援事業

(百万円)

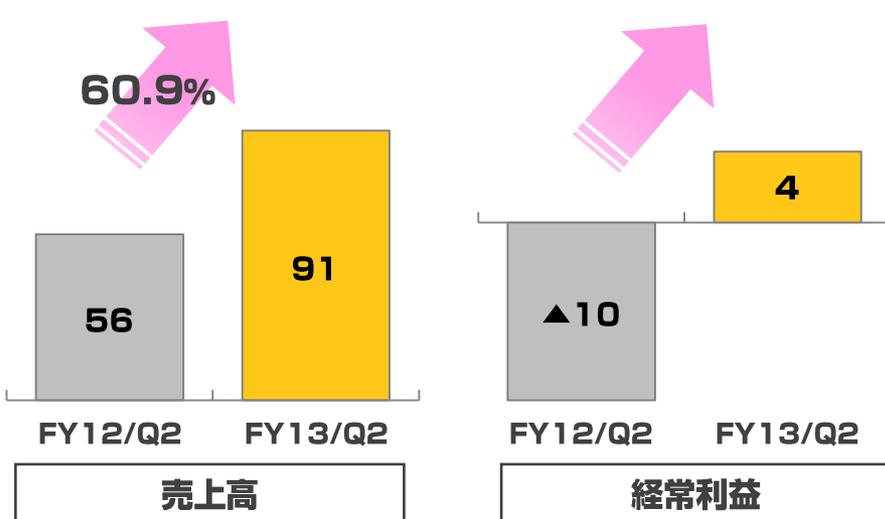


認証保育所
3ヶ所運営

東京都認証保育所
13年8月開園予定

医療介護支援事業

(百万円)



デイサービス施設
3ヶ所運営

着実に成長

**2013年9月期
下半期（4～9月）**

業績予想

連結業績予想

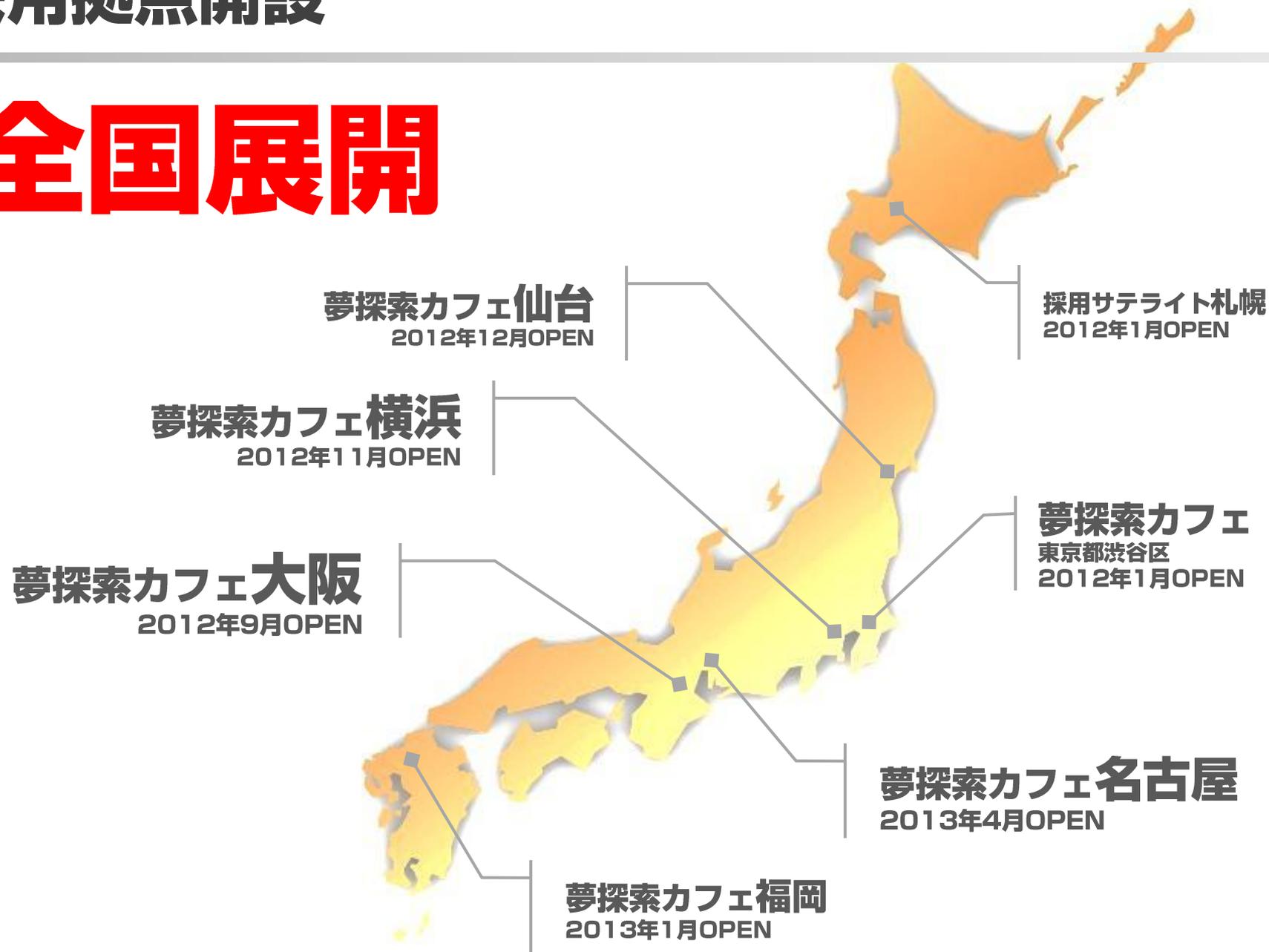
(百万円)

	第2四半期			通 期		
	FY13 予想	FY13 実績	達成率	FY13 予想	進捗率	前期比
売上高	6,400	6,132	95.8%	13,500	45.4%	22.9%
営業利益	950	772	81.3%	2,100	36.8%	75.8%
経常利益	970	956	98.6%	2,200	43.5%	69.8%
純利益	550	583	106.0%	1,300	44.9%	76.0%

※ () = 売上高比率

採用拠点開設

全国展開



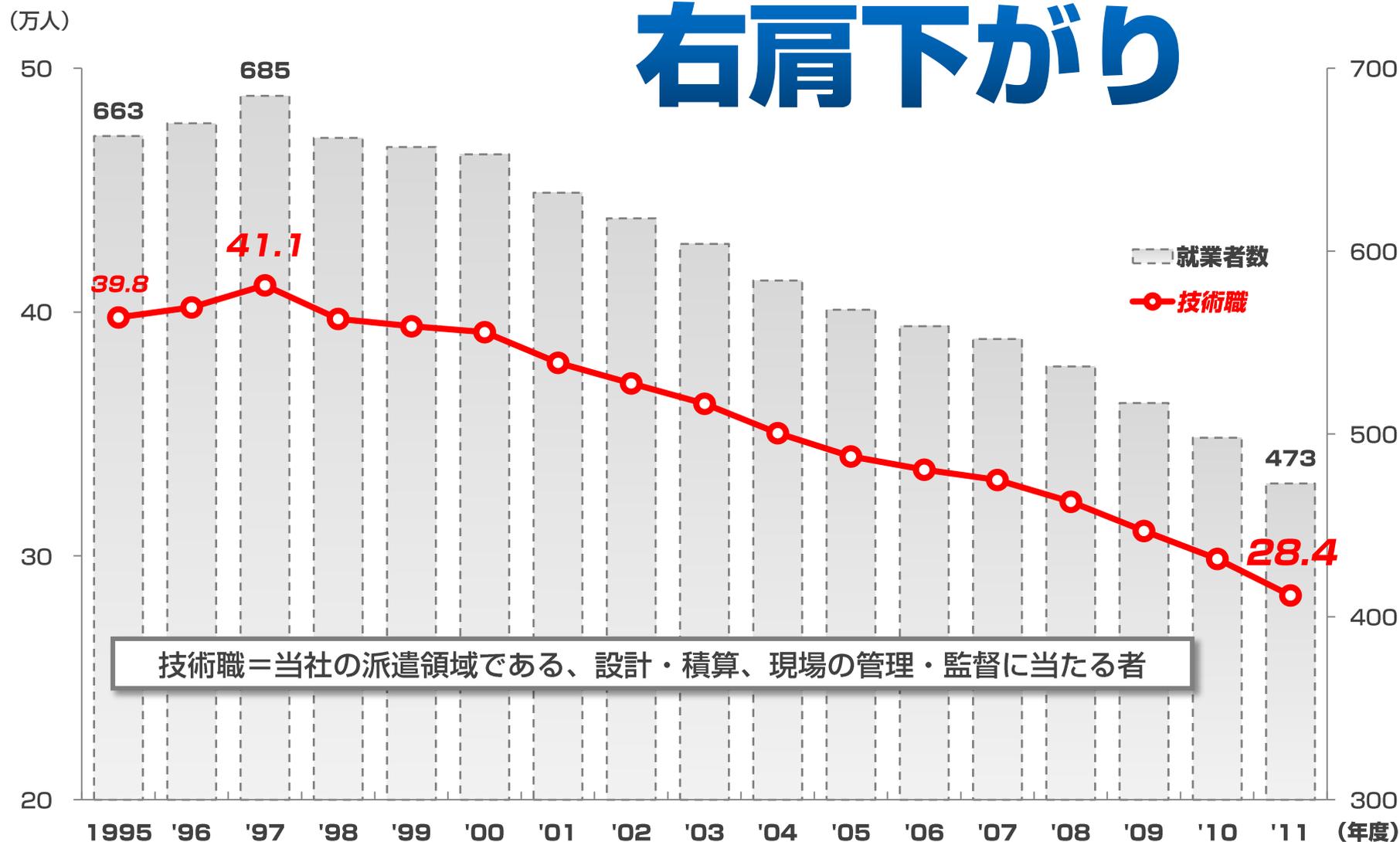
下半期採用計画

年間1,200人採用へ

	10~3月 累計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4~9月 累計
採用計画(A)	—	155	155	155	155	125	125	870
新卒採用	—	100	100	100	100	50	50	500
中途採用	—	55	55	55	55	75	75	370
採用実績(B)	359	242						
計画差異(B-A)	—	+87						

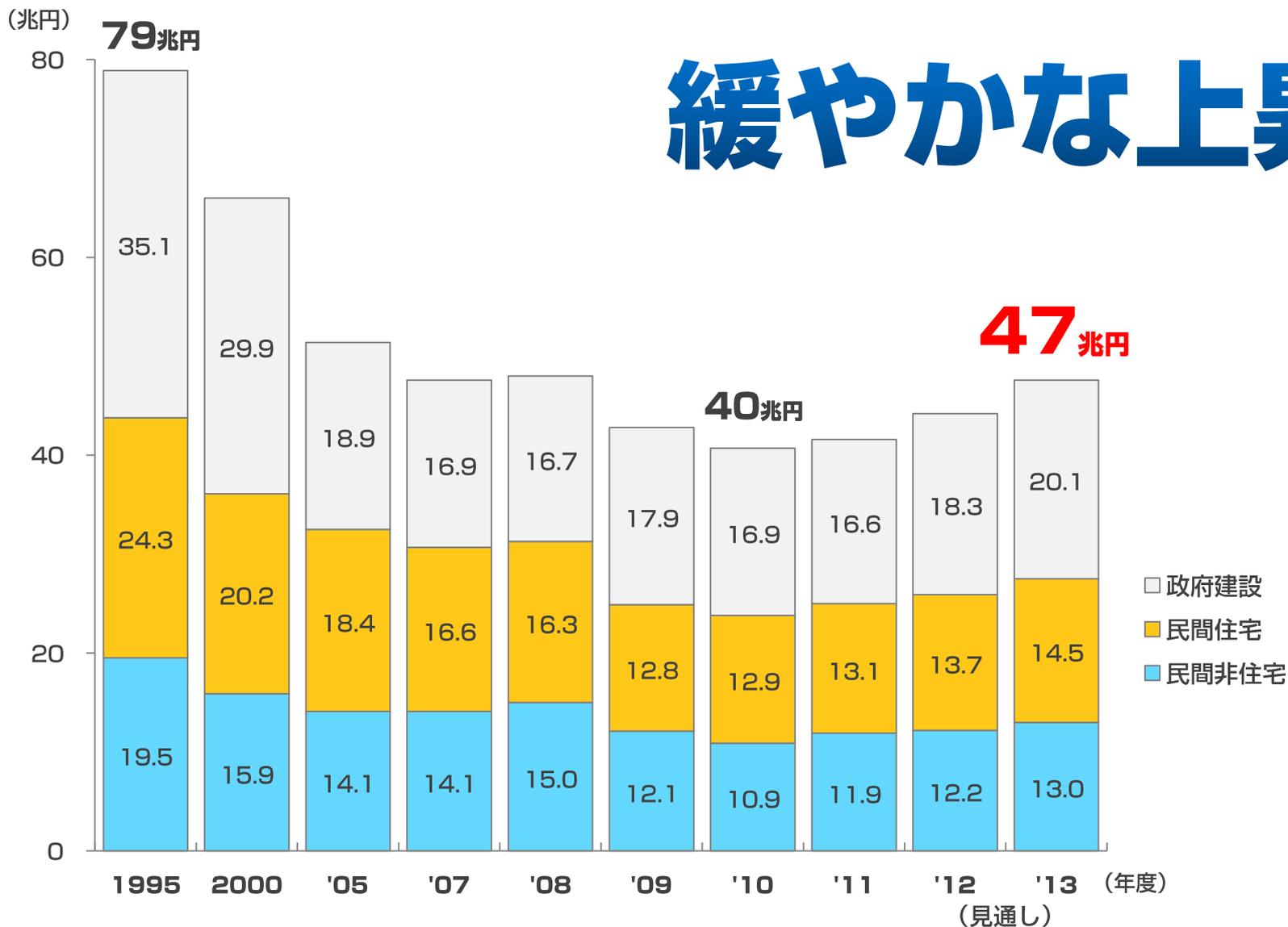
中期経営計画

外部環境（1）建設就業者数



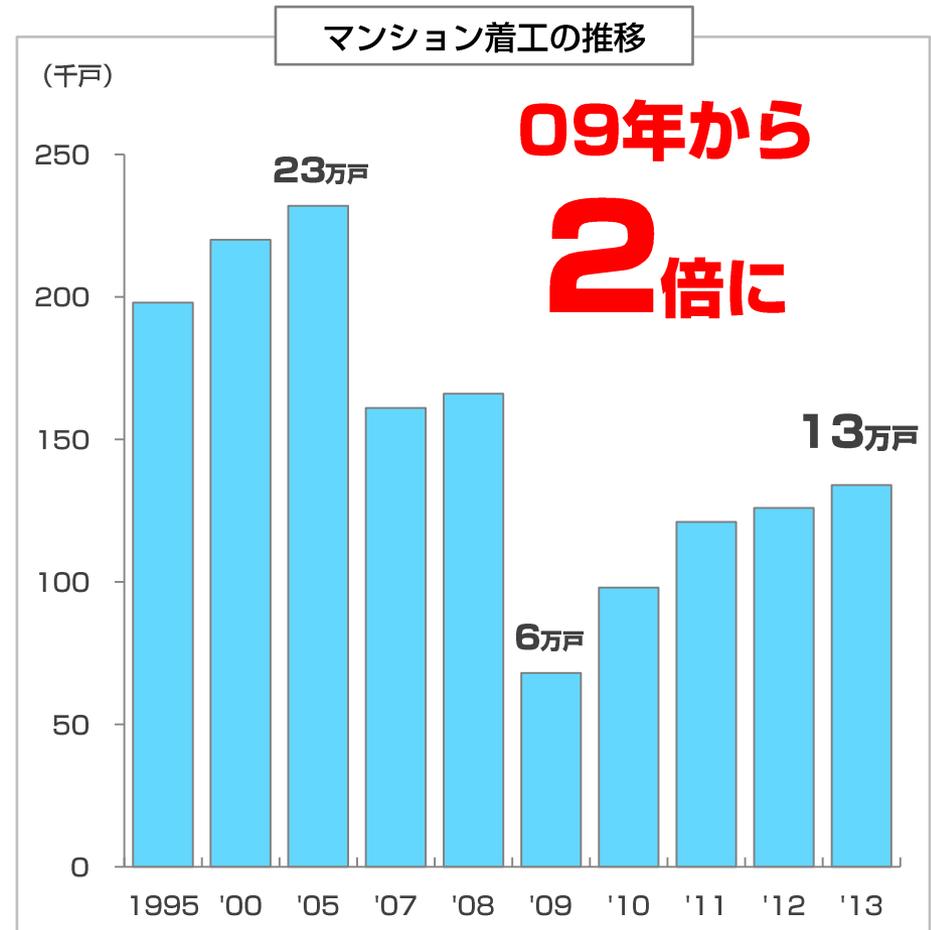
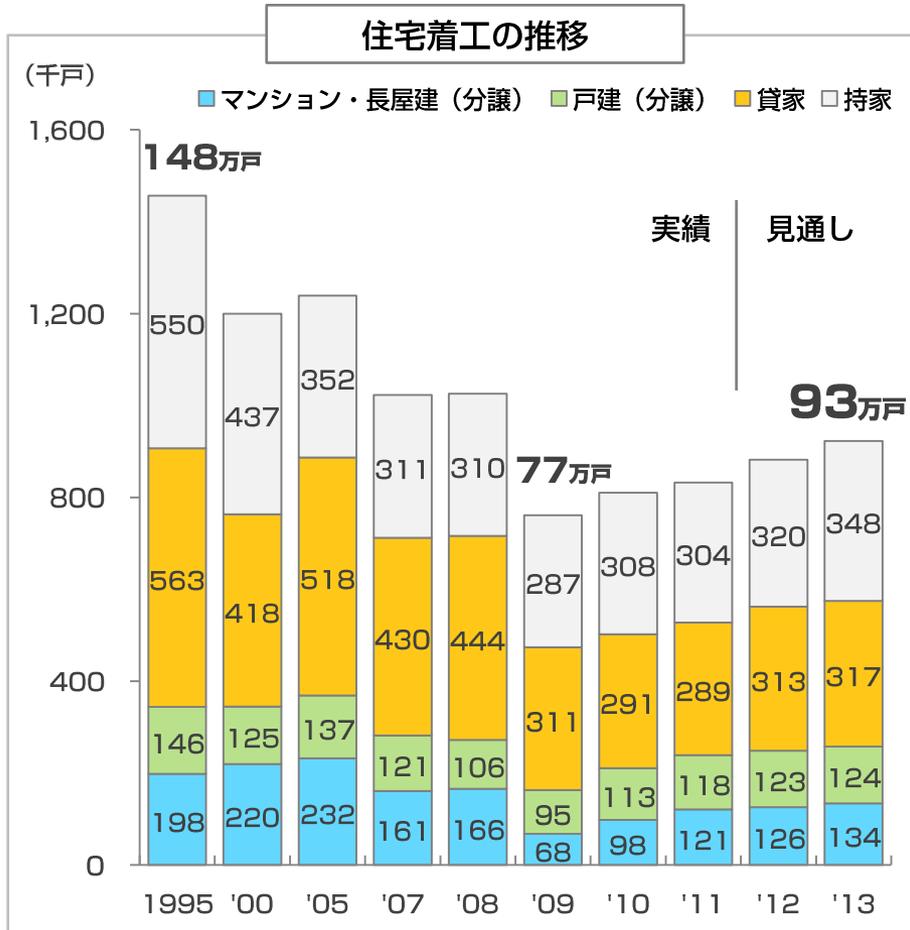
外部環境 (2) 建設投資額

緩やかな上昇



外部環境 (3) 住宅着工数

09年をボトムに回復



外部環境まとめ

次代を担う人材の採用・育成が急務

今後さらに技術者の不足が深刻化

就業者数が減少

直近10年で約135万人減少
(技術職は約8万人減少)

就業者が高齢化

3人に1人が55歳以上
今後10年以内に約150万人が
退職の可能性
(技術職は約9万人)

建設需要の回復

建設投資額が2010年から増加
住宅着工、非住宅着工ともに
2009年から増加
東北復興工事の顕在化

採用計画の修正

新

5年連続

1,200人以上

旧

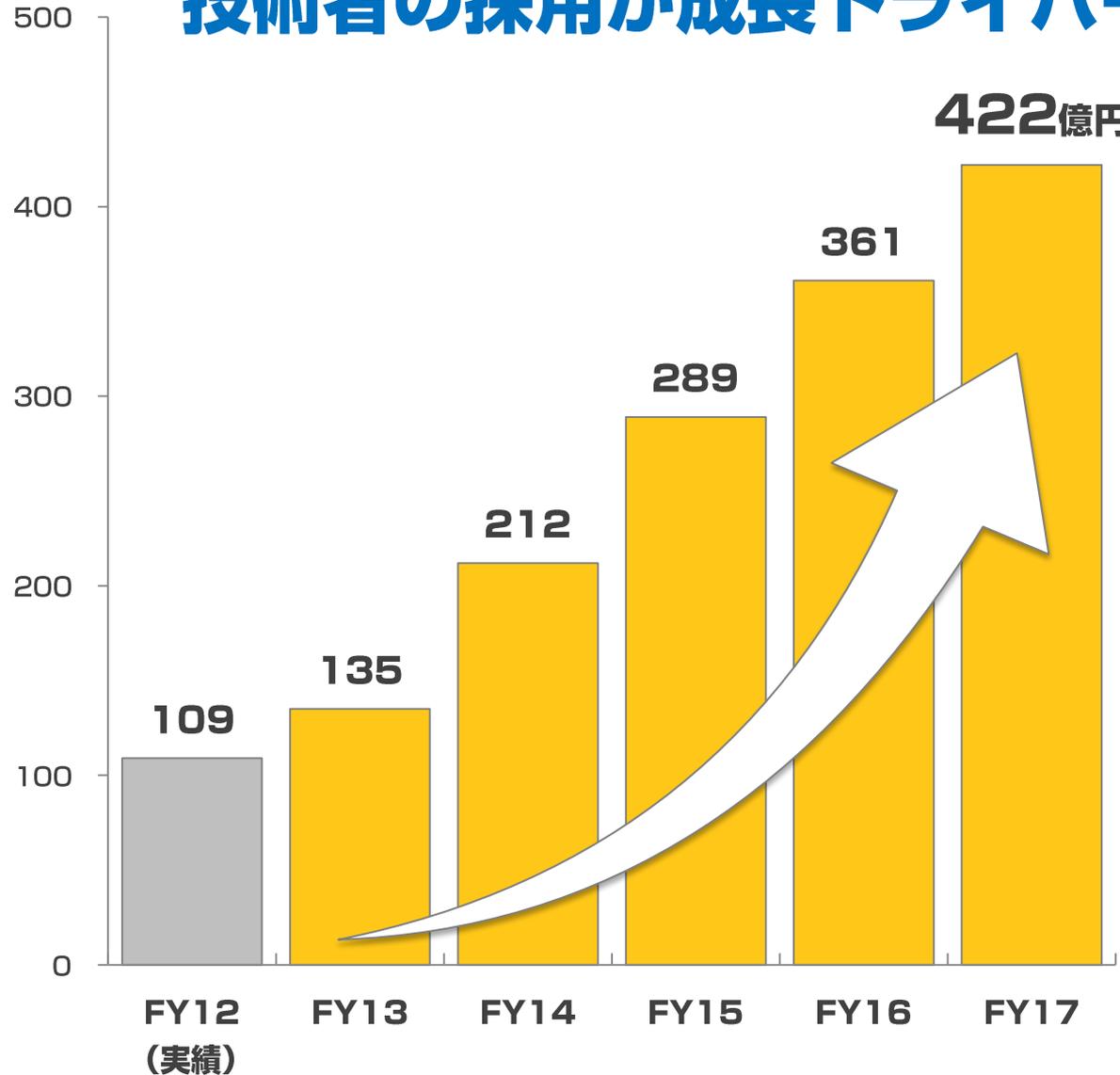
5年連続

800人以上

中期経営計画（1）売上高

(億円)

技術者の採用が成長ドライバー



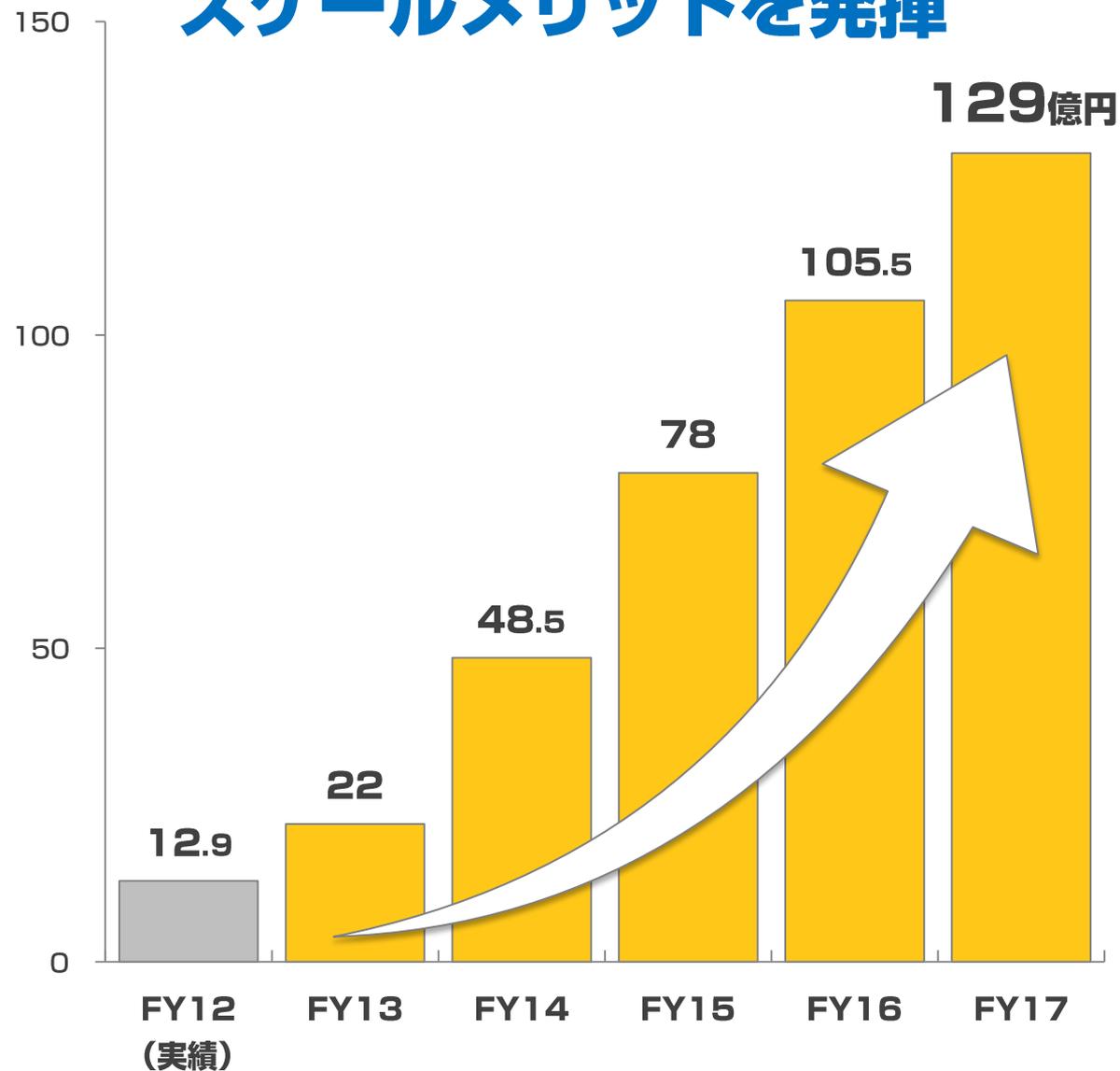
5年後…

4 倍へ

中期経営計画（2） 経常利益

(億円)

スケールメリットを發揮



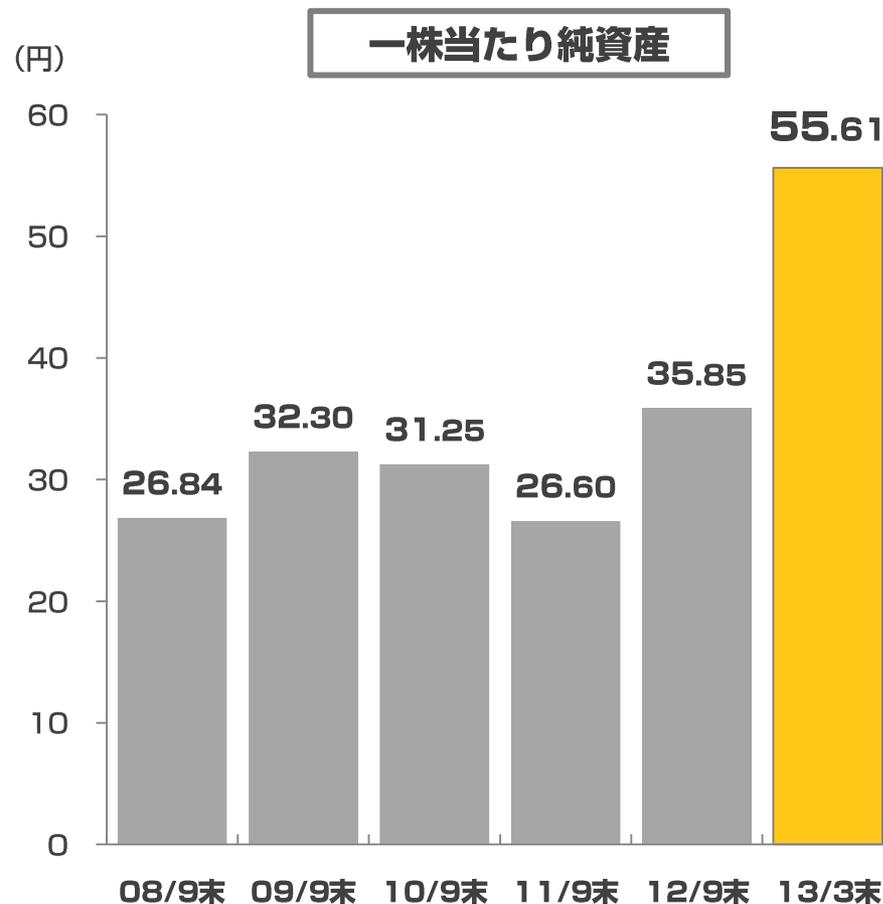
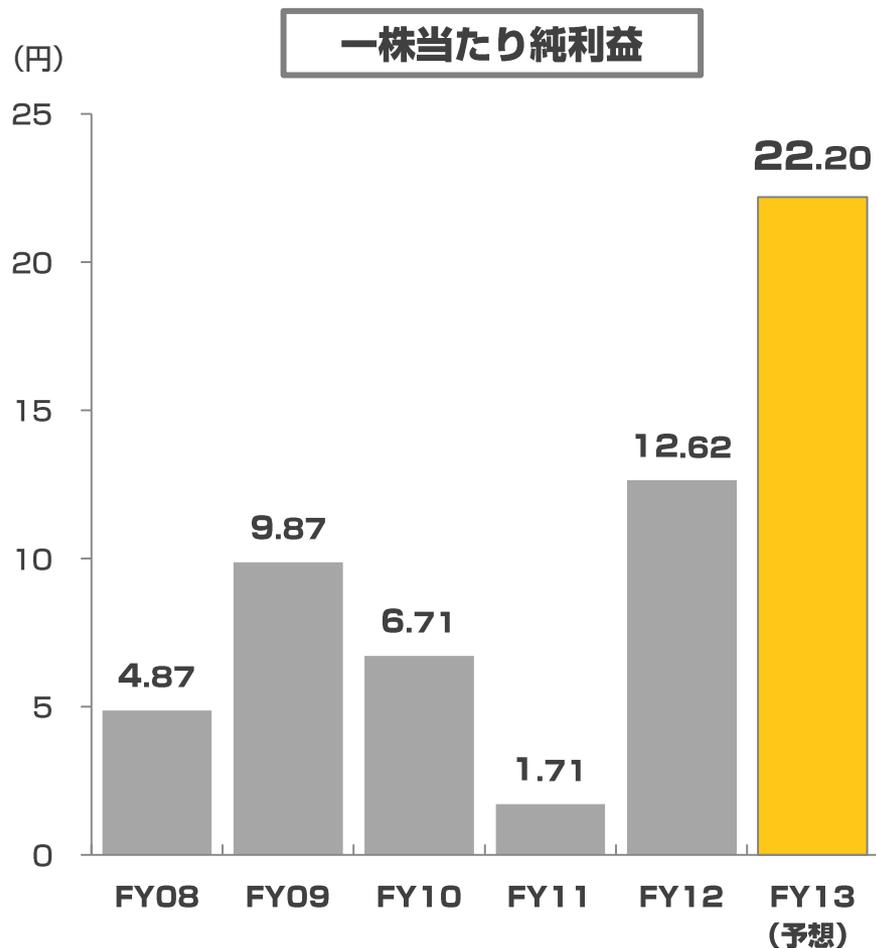
5年後…

100億
突破

株主還元

株主還元（1） 一株当たり純利益・純資産

純利益・純資産ともに成長局面へ

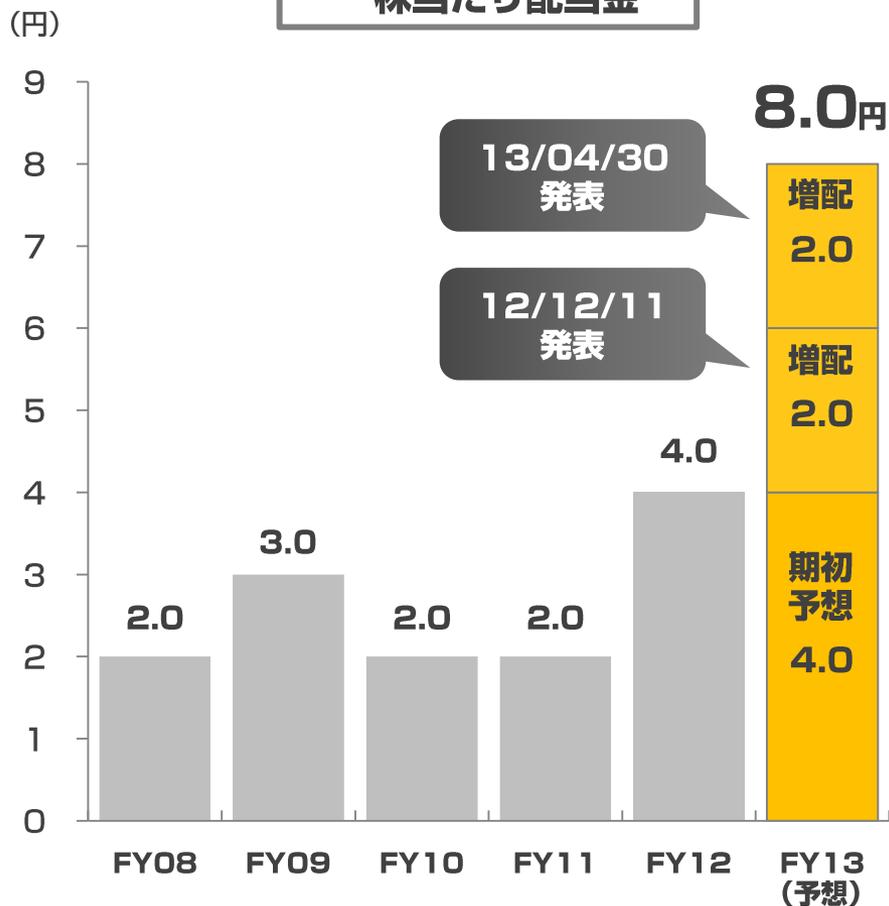


- ※ 1. 一株当たり純利益 = 当期純利益 ÷ (発行済株式総数 - 自己株式) × 100
- 2. 一株当たり純利益 = 自己資本 ÷ (発行済株式総数 - 期末自己株式数) × 100
- 3. 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権

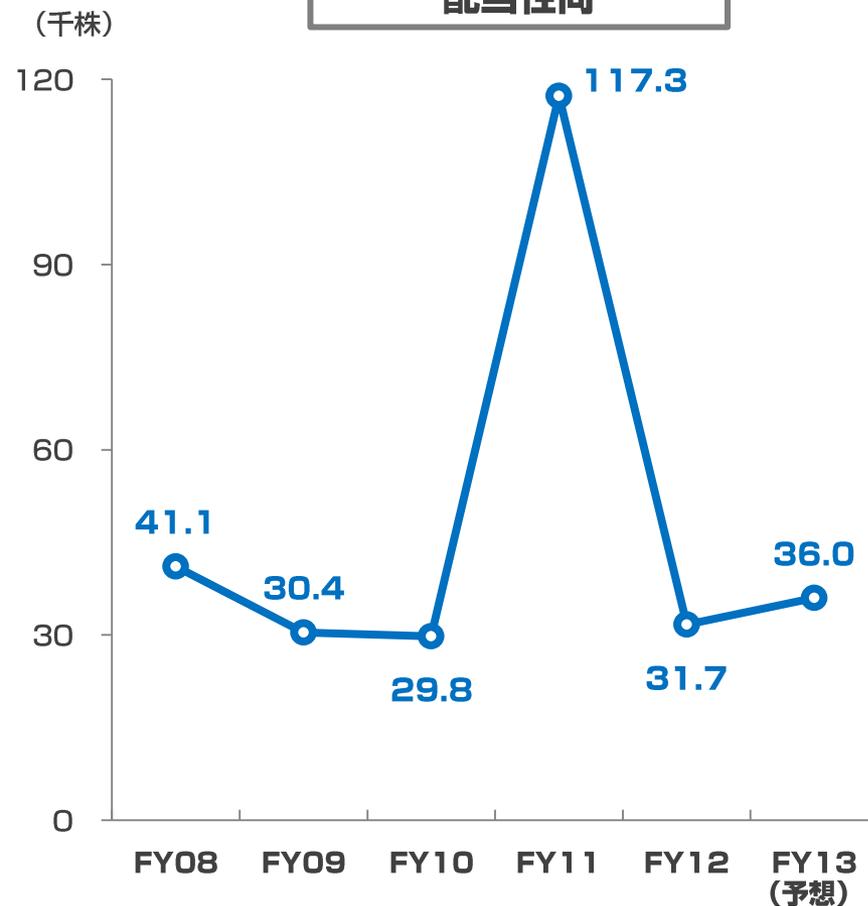
株主還元（2） 一株当たり配当金

業績に連動した利益配分、毎期増配へ

一株当たり配当金



配当性向



※ 自己株式保有割合は発行済株式総数74,573,440株をもとに算出

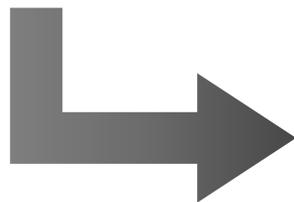
ご参考

自己株式を活用した資金調達

自己株式を割当・株価の上昇に連動

	済 第4回	第5回	第6回
行使価額	500円	750円	1,000円
潜在株数	250万株	250万株	250万株

調達額 **56** 億円



1. 借入金の返済
2. 運転資金

人と人とのめぐりあいで
みんなの夢を真にする

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予測値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものでもございませぬし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではございませぬ。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

<お問い合わせ>

〒112-0012

東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル

株式会社夢真ホールディングス IR室

TEL : 03-5981-0672 FAX : 03-5981-0711

E-mail : ir@yumeshin.co.jp